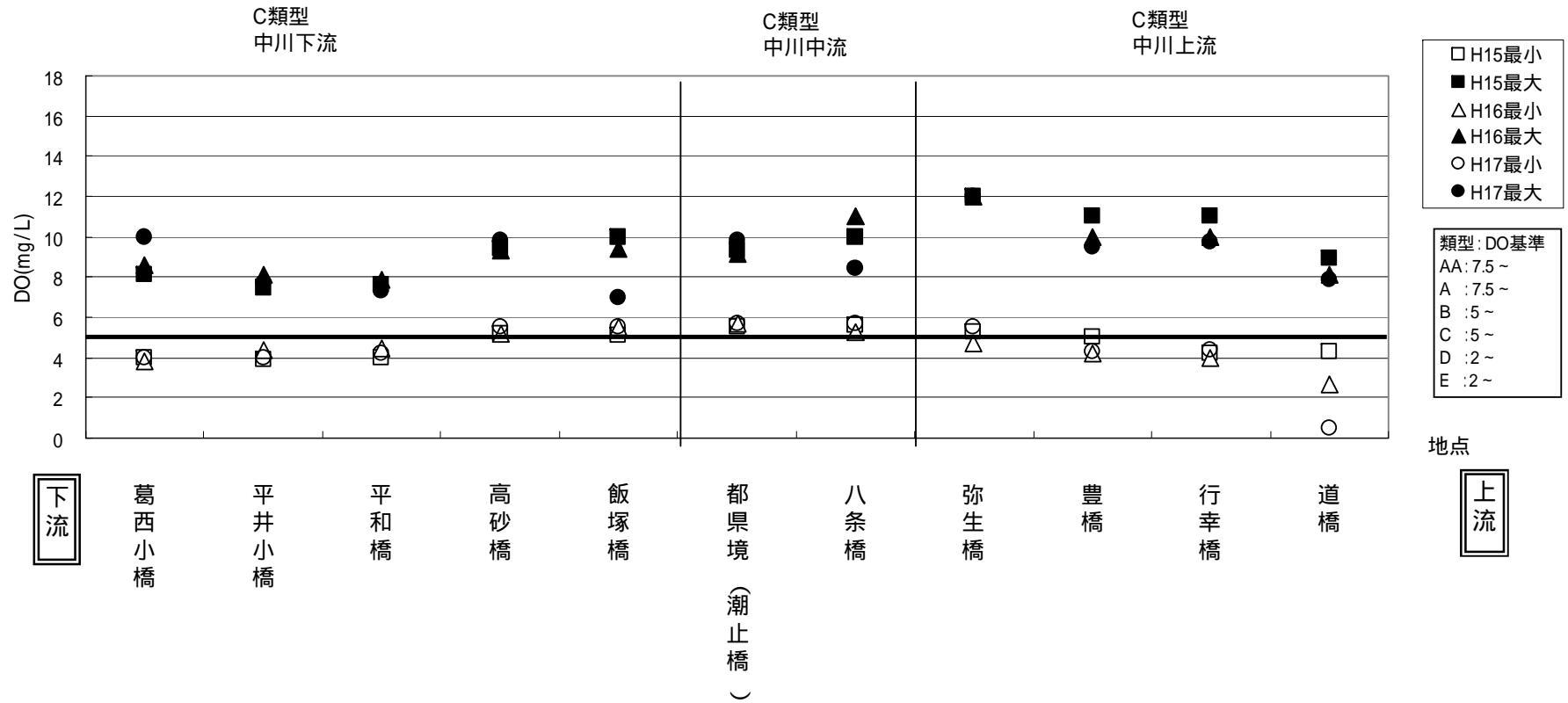


地点: 環境基準点()・補助点()・流量測定点()

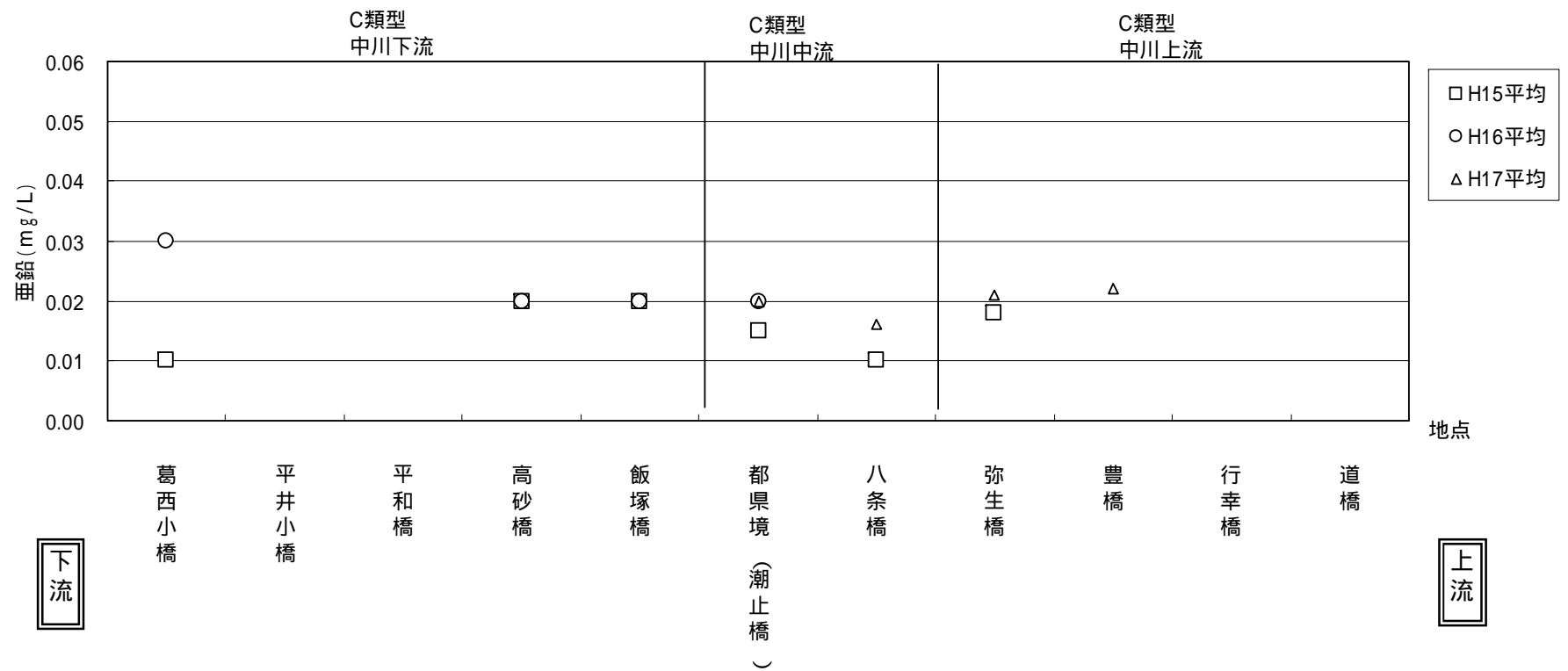
中川 pH縦断分布図



地点: 環境基準点()・補助点()・流量測定点()

中川 DO縦断分布図

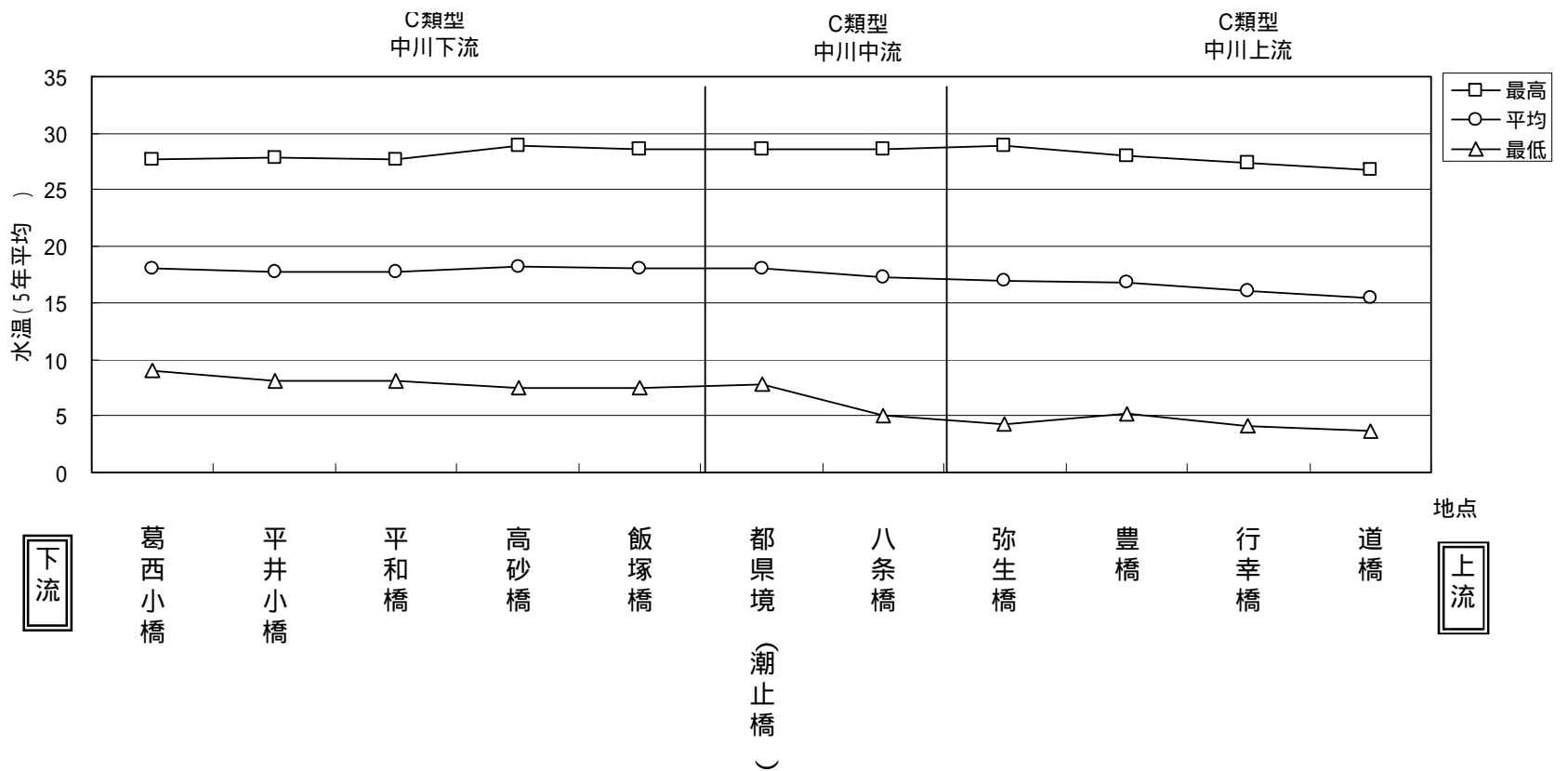
本資料は検討中のもので修正する場合がある。



地点：環境基準点()・補助点()・流量測定点()

年度平均値が < 0.01、< 0.03 (定量下限値未満) の地点については、0.01 及び 0.03 とみなしてプロットした。また、定量下限値が < 0.05 の地点のデータは除外した。

中川 亜鉛縦断分布図



No	河川	都道府県	処理場名	放流水質 (H16年平均)		放水量 (m ³ /s)	
				水温 ()	BOD (mg/l)	H16年	計画
	中川	埼玉県	中川処理センター	23.0	6.6	5.21	8.12
	中川	東京都	中川処理場	-	1.0	2.60	6.83

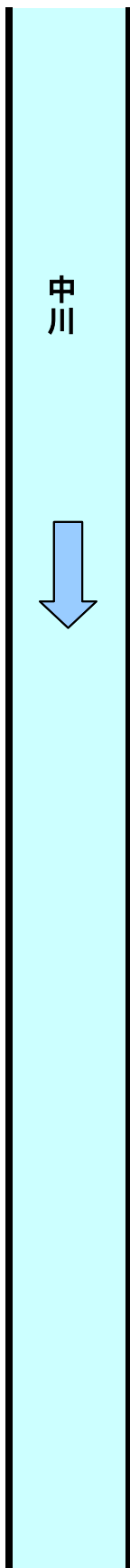
出典：平成16年度版下水道統計(行政編)

最高・平均・最低は、平成12～16年度の公共用水域水質測定結果より、各年度において、月平均水温の年最高値・年平均値・年最低値を求め、5ヵ年でそれぞれ平均した値である。一部で月1回以上の頻度で計測していない地点がある。

地点：環境基準点()・補助点()・流量測定点()

中川 水温縦断分布図

本資料は検討中のもので修正する場合がある。



- 県道弥生橋
- 市道新川橋
- 中川水管橋
- 県道吉川橋及び歩道橋
- 県道吉越橋
- JR武蔵野線中川橋梁
- 新中川水管橋
- 県道八条橋及び歩道橋
- 東京外郭環状道路中川橋梁
- 一般国道298号 潮郷橋
- ガス導管橋
- 首都高速道路共和橋
- 県道共和橋
- 常磐新線中川橋梁
- 県道新中川橋(建設中)
- 県道潮止橋及び側道橋
- 都道飯塚橋
- 鹿浜線水管橋
- 中川水管橋
- JR常磐線中川橋梁
- 都道中川橋
- 国道6号中川大橋
- 中川新宿水管橋
- 京成電鉄中川橋梁

凡例



魚道なし



魚道あり

主な河川横断工作物(中川)

出典:国土交通省資料

※本資料は検討中のものであり修正する場合がある。

中川魚介類の確認状況(既存調査結果)(1/1)

調査地点		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		奥戸橋	高砂橋	潮止橋	南川崎	鶴ヶ曽根	吉川橋	庄和町内	倉松川合流点	幸手総合公園	加須市内	羽生市内
調査時期		平成15年度(8・10・3月)	平成15年度(5・10月)	平成15年度(5・10月)	平成15年度(5・10月)	平成15年度(5・10月)	平成15年度(5・10月)	平成3年度	平成15年度(8・10月)	平成15年度(8・10月)	平成3年度	平成3年度
項目・分類・科・種名												
その他	魚類	キュウリウオ科	アユ									
生物B	魚類	ウナギ科	ウナギ									
		コイ科	コイ									
		コイ科	フナ類(ゲンゴロウフナ)									
		コイ科	フナ類(ギンブナ)									
		コイ科	フナ類(Carassius属の数種)									
		コイ科	オイカワ									
		ドジョウ科	ドジョウ									
		ボラ科	ボラ									
		ハゼ科	ヨシノボリ類(トウヨシノボリ)									
		ハゼ科	ヨシノボリ(Rhinogobius)属の一種									
		テナガエビ科	テナガエビ									
		シジミ科	ヤマトシジミ									
その他	魚類	ニシン科	サッパ									
		コノシロ科	コノシロ									
		コイ科	タイリクバラタナゴ									
		コイ科	ハクレン									
		コイ科	ウグイ(Tribolodon)属の一種									
		コイ科	モツゴ									
		コイ科	タモロコ									
		コイ科	ツチフキ									
		コイ科	ニゴイ									
		コイ科	スゴモロコ									
		カダヤシ科	カダヤシ									
		シマイサキ科	シマイサキ									
		スズキ科	スズキ									
		サンフィッシュ科	ブルーギル									
		サンフィッシュ科	オオクチバス(ブラックバス)									
		ヒイラギ科	ヒイラギ									
		ハゼ科	マハゼ									
		ハゼ科	シマハゼ									
		ハゼ科	ヌマチチブ									
		ハゼ科	チチブ(Tridentiger)属の一種									
		ハゼ科	ジュズカケハゼ									
		ハゼ科	ハゼ科の一種									
甲殻類		アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ									
		イワガニ科	クロベンケイガニ									
		イワガニ科	ヒメモズガニ									
		イワガニ科	ベンケイガニ									
		タニシ科	ヒメタニシ									
		ミズゴマツボ科	ミズゴマツボ									
		ムシロガイ科(オビロガイ科)	アラムシロガイ									
		サカマキガイ科	サカマキガイ									
		イガイ科	ムラサキイガイ									

分類体系は山溪カラー図鑑日本の淡水魚(山と溪谷社,1989)・学研生物図鑑魚類(学習研究社,1983)・新日本動物図鑑(中)(北隆館,1965)等を参考とした。

データの出典:調査機関・名称・年度

国土交通省、河川水辺の国勢調査、平成15年度(5・10月)調査

東京都、隅田川他8河川水辺の国勢調査(魚介類)利根川水系、平成15年度(8・10・3月)調査

埼玉県、河川水辺の国勢調査、平成15年度(8・10月)調査

埼玉県水産試験場、埼玉県の生息魚類の分布について、平成3年度データ

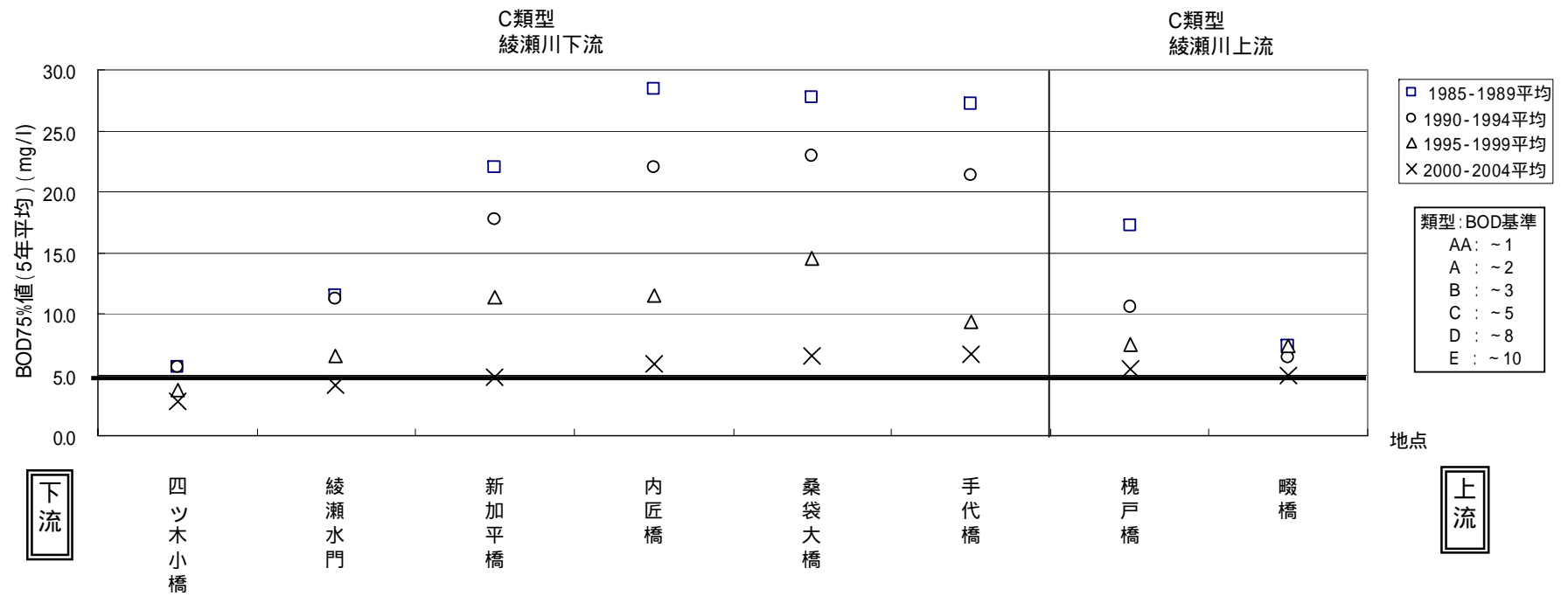
近年の水質状況(綾瀬川)

対象	水域	類型	環境基準点	年度	BOD(mg/L)					pH			DO(mg/L)				SS(mg/L)				大腸菌群数(MPN/100mL)			
					最小値	最大値	平均値	75%値	基準	最小値	最大値	基準	最小値	最大値	平均値	基準	最小値	最大値	平均値	基準	最小値	最大値	平均値	基準
河川	綾瀬川上流	C	暇橋	H15	2.6	8.7	4.4	4.4	5	7.0	7.4	6.0~8.5	3.5	9.5	6.2	5	7	46	24	50	70,000	240,000	120,000	-
				H16	2.4	9.3	4.1	4.8	7.1	7.3	4.8		10.0	6.9	7	50	22	13,000	170,000	64,000				
				H17	2.4	8.8	4.8	6.5	7.1	7.7	5.0		8.4	6.7	8	41	21	14,000	330,000	130,000				
	綾瀬川下流	C	内匠橋(都 県境)	H15	2.3	7.5	4.5	5.7	5	7.0	7.4	6.0~8.5	2.4	7.0	3.8	5	5	61	24	50	-	-	-	-
				H16	2.1	7.5	4.9	5.2	7.0	7.3	2.5		9.5	5.1	8	90	29	-	-	-				
				H17	2.4	5.8	4.3	5.5	7.1	7.4	3.1		7.0	4.5	3	57	22	-	-	-				

出典：公共用水域の水質測定結果

公共用水域の水質測定結果(平成15~17年度)

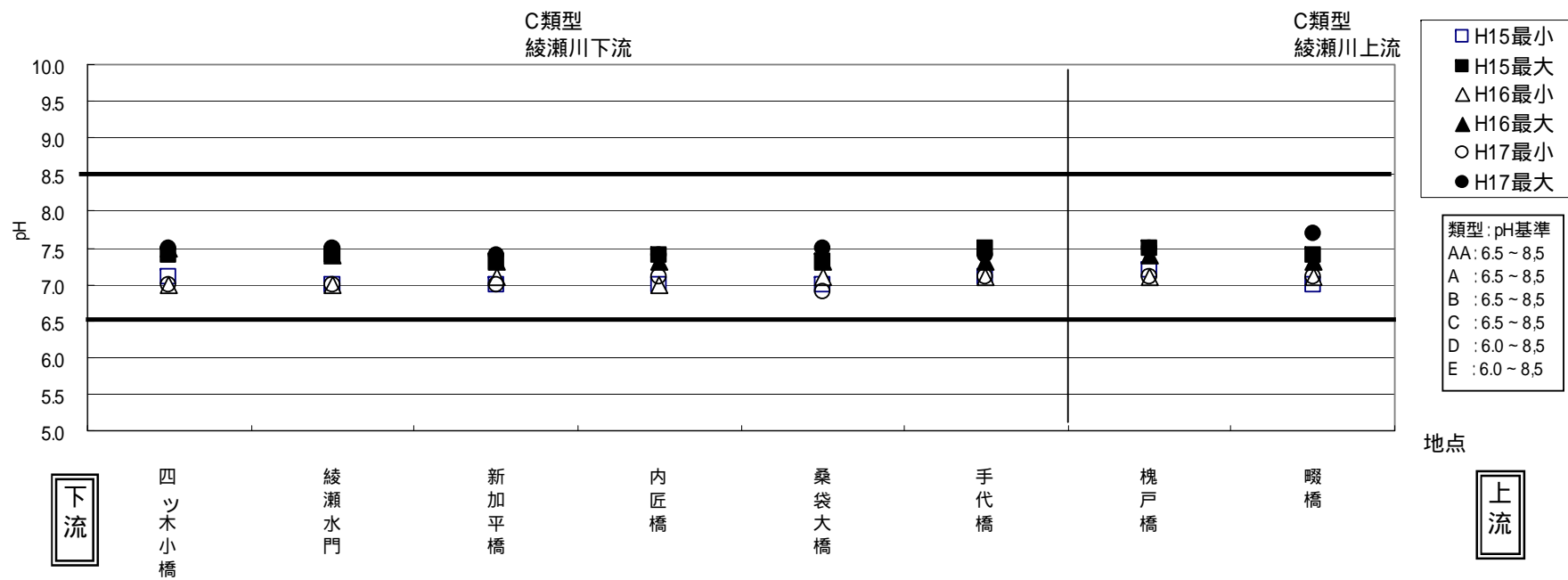
水質汚濁防止法の規定に基づき、全国の都道府県が毎年定める測定計画に従って、都道府県・水質汚濁防止法政令市のほか、一級河川のうち国の直轄管理区間については国土交通省地方整備局によって実施される。原則、河川は表層(水深の2割程度)、湖沼は表層(成層期には成層を配慮)、海域は表層・中層(必要に応じて下層)の測定結果である。



地点：環境基準点()・補助点()・流量測定点()

綾瀬川 BOD75%値 縦断分布図

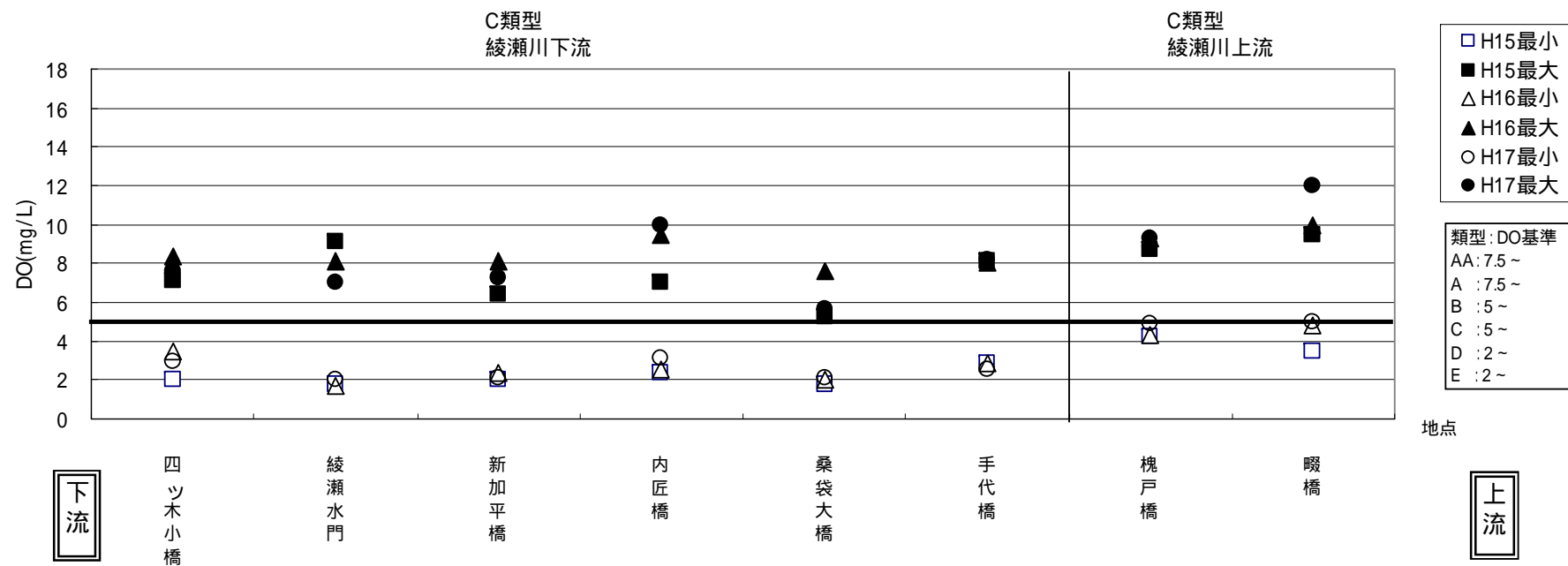
本資料は検討中のもので修正する場合がある。



地点: 環境基準点()・補助点()・流量測定点()

綾瀬川 pH縦断分布図

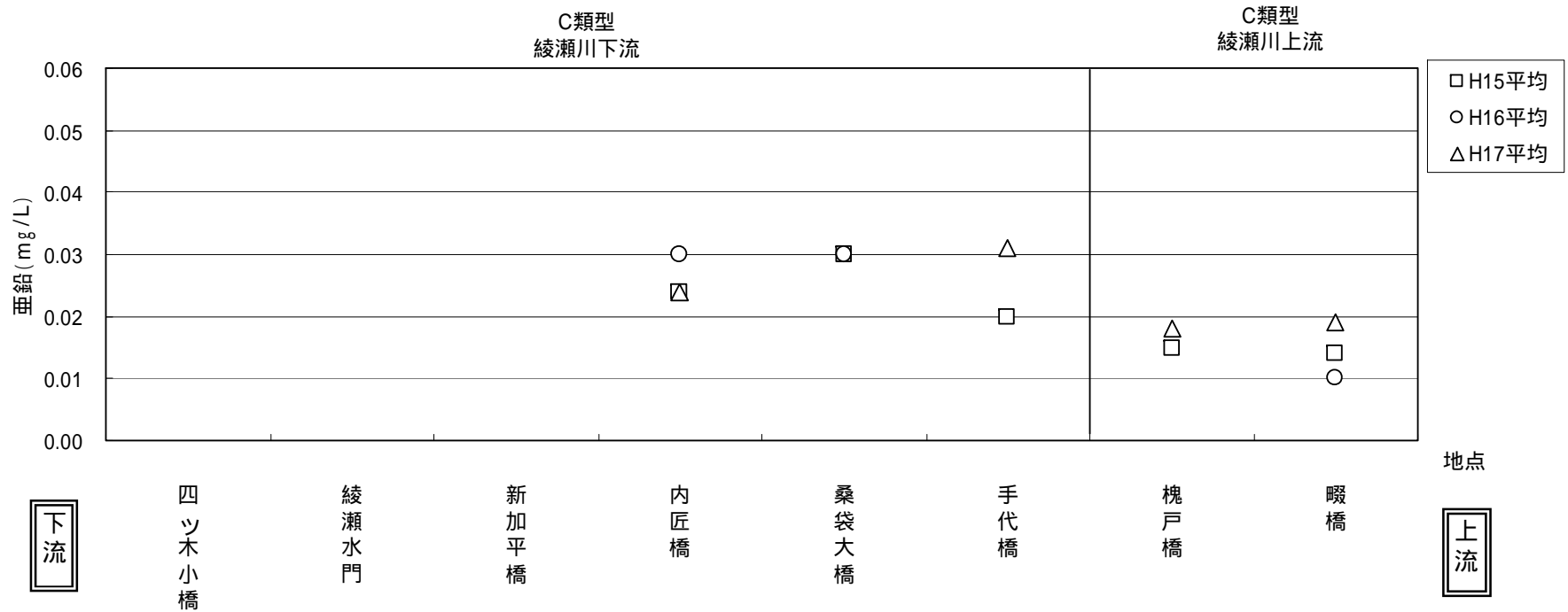
本資料は検討中のもので修正する場合がある。



地点: 環境基準点()・補助点()・流量測定点()

綾瀬川 DO縦断分布図

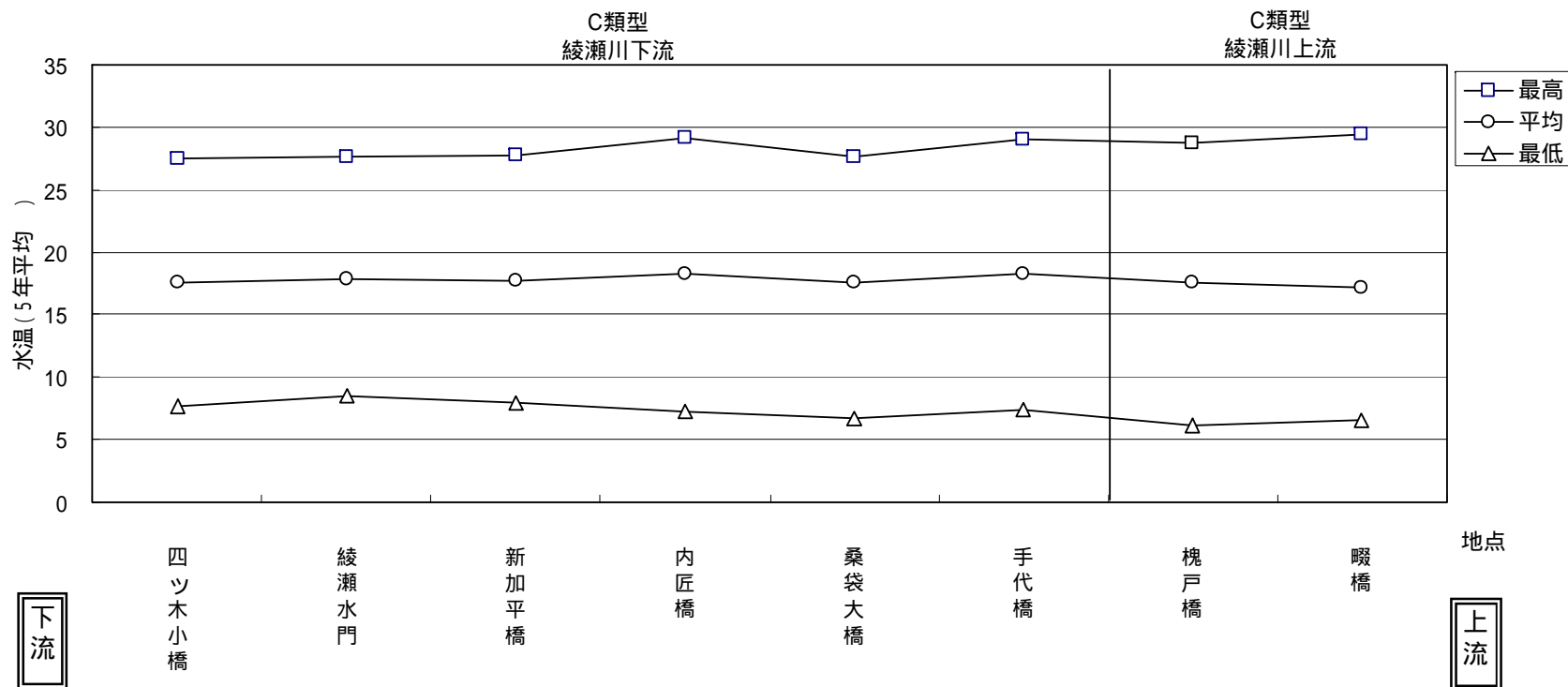
本資料は検討中のもので修正する場合がある。



地点：環境基準点()・補助点()・流量測定点()
 年度平均値が < 0.01、< 0.03 (定量下限値未満) の地点については、0.01 及び 0.03 とみなしてプロットした。また、定量下限値が < 0.05 の地点のデータは除外した。

綾瀬川 亜鉛縦断分布図

本資料は検討中のもので修正する場合がある。



No	河川	都道府県	処理場名	放流水質 (H16年平均)		放水量 (m ³ /s)	
				水温 (°C)	BOD (mg/l)	H16年	計画
	綾瀬川	東京都	小菅処理場	-	<1.0	2.89	3.01

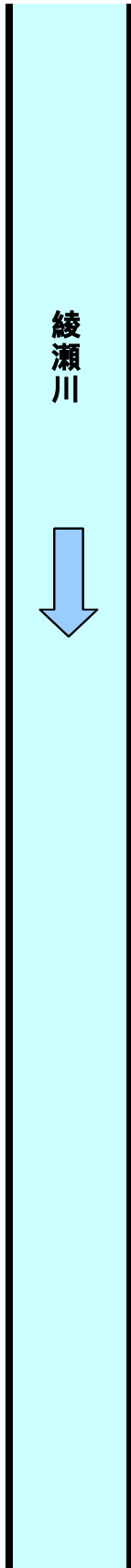
出典:平成16年度版下水道統計(行政編)

最高・平均・最低は、平成12～16年度の公共用水域水質測定結果より、各年度において、月平均水温の年最高値・年平均値・年最低値を求め、5ヵ年でそれぞれ平均した値である。一部で月1回以上の頻度で計測していない地点がある。

地点:環境基準点()・補助点()・流量測定点()

綾瀬川 水温縦断分布図

本資料は検討中のもので修正する場合がある。



- 東武鉄道伊勢崎線綾瀬川橋梁 凡例
- 魚道なし
 魚道あり
- 県道綾瀬橋
 - 市道蒲生大橋
 - 市道槐戸橋
 - 国道298号サービス道路かさね橋(下り)
 - 東京外郭環状道路綾瀬川橋
 - 国道299号綾瀬川橋
 - 国道298号サービス道路かさね橋(上り)
 - 松並橋
 - 人道橋中曽根橋
 - 市道松原大橋
 - 遊歩道ハープ橋
 - 県道谷古宇橋
 - 市道松江橋
 - 市道八条橋及び歩道橋
 - 県道手代新橋
 - 水管橋
 - 市道手代橋
 - 綾瀬川水管橋
 - 市道宮代橋
 - 県道柳の宮橋
 - 市道西袋橋
 - ガス管橋
 - 区道桑袋大橋
 - 県道浮花橋

主な河川横断工作物(綾瀬川)

出典:国土交通省資料

※本資料は検討中のものであり修正する場合がある。

綾瀬川魚介類の確認状況(既存調査結果)(1/1)

項目・分類・科・種名		調査地点		1	2	3	4	5	6	7	8	
		内匠橋(国土交通省)	内匠橋(東京都)	八条大橋	松原大橋	綾瀬新橋	浦和市内	原市沼川合流点	伊奈町内			
		調査時期		平成15年度(5・10月)	平成15年度(8・10月)	平成15年度(5・10月)	平成15年度(5・10月)	平成15年度(8・10月)	平成7年度	平成15年度(8・10月)	平成7年度	
その他	魚類	キュウリウオ科	アユ									
生物B	魚類	ウナギ科	ウナギ									
		コイ科	コイ									
		コイ科	フナ類(ゲンゴロウブナ)									
		コイ科	フナ類(ギンブナ)									
		コイ科	フナ類(キンブナ)									
		コイ科	フナ類(Carassius属の数種)									
		コイ科	オйкаワ									
		ドジョウ科	ドジョウ									
		ナマズ科	ナマズ									
		ボラ科	ボラ									
		ハゼ科	ヨシノボリ類(トウヨシノボリ)									
		ハゼ科	ヨシノボリ(Rhinogobius)属の一種									
		甲殻類	テナガエビ科	テナガエビ								
イワガニ科	モクスガニ											
その他	魚類	コイ科	キンギョ									
		コイ科	タナゴ(Acheilognathus)属の一種									
		コイ科	タイリクバラタナゴ									
		コイ科	ウグイ(Tribolodon)属の一種									
		コイ科	モツゴ									
		コイ科	タモロコ									
		コイ科	ニゴイ									
		コイ科	スゴモロコ									
		ドジョウ科	カラドジョウ									
		カダヤシ科	カダヤシ									
		スズキ科	スズキ									
		サンフィッシュ科	オオクチバス(ブラックバス)									
		ハゼ科	スミウキゴリ									
		ハゼ科	マハゼ									
		ハゼ科	ヌマチチブ									
		ハゼ科	チチブ(Tridentiger)属の一種									
		タイワンドジョウ科	カムルチー									
		甲殻類	アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ								
			イワガニ科	クロベンケイガニ								
		貝類	ムシロガイ科(オイレヨバイ科)	アラムシロガイ								
サカマキガイ科	サカマキガイ											

分類体系は山溪カラー図鑑日本の淡水魚(山と溪谷社,1989)・学研生物図鑑魚類(学習研究社,1983)・新日本動物図鑑(中)(北隆館,1965)等を参考とした。

データの出典:調査機関・名称・年度

国土交通省、河川水辺の国勢調査、平成15年度(5・10月)調査

東京都、隅田川他8河川水辺の国勢調査(魚介類)利根川水系、平成15年度(8・10・3月)調査

埼玉県、河川水辺の国勢調査、平成15年度(8・10月)調査

埼玉県水産試験場、埼玉県の生息魚類の分布について、平成7年度データ

近年の水質状況(渡良瀬川)

対象	水域	類型	環境基準点	年度	BOD(mg/L)					pH			DO(mg/L)				SS(mg/L)				大腸菌群数(MPN/100mL)					
					最小値	最大値	平均値	75%値	基準	最小値	最大値	基準	最小値	最大値	平均値	基準	最小値	最大値	平均値	基準	最小値	最大値	平均値	基準		
河川	渡良瀬川上流	A	高津戸	H15	<	0.5	0.9	0.6	0.7	2	7.0	7.8	6.5~8.5	9.2	13.0	11.0	7.5	<	1	8	2	25	230	7,900	2,500	1,000
				H16	<	0.5	1.9	0.8	0.7		7.2	7.6		9.1	13.0	11.0		<	1	12	3		490	3,300	1,800	
				H17	<	0.5	1.0	0.6	0.7		7.3	7.6		9.5	14.0	11.0		1	12	3	78		4,900	2,300		
		赤岩用水取水口	H15	<	0.5	1.4	0.8	0.9	7.3	8.4	8.6	13.0	11.0	<	1	7	2	460	17,000	3,400						
			H16	<	0.5	1.3	0.8	0.9	7.2	7.9	9.2	13.0	11.0	<	1	20	3	140	33,000	3,900						
			H17	<	0.5	1.6	0.8	0.8	7.3	8.0	8.6	13.0	11.0	<	1	16	3	130	33,000	4,600						
	渡良瀬川(1)	A	赤岩用水取水口	H15	<	0.5	1.4	0.8	0.9	2	7.3	8.4	6.5~8.5	8.6	13.0	11.0	7.5	<	1	7	2	25	460	17,000	3,400	1,000
				H16	<	0.5	1.3	0.8	0.9		7.2	7.9		9.2	13.0	11.0		<	1	20	3		140	33,000	3,900	
				H17	<	0.5	1.6	0.8	0.8		7.3	8.0		8.6	13.0	11.0		<	1	16	3		130	33,000	4,600	
	渡良瀬川(2)	B	葉鹿橋	H15		0.6	1.7	1.0	1.3	3	7.4	8.3	6.5~8.5	8.4	13.0	11.0	5	<	1	8	3	25	330	17,000	5,000	5,000
				H16		0.5	1.8	0.9	0.9		7.2	8.2		9.4	12.0	10.0		<	1	14	3		93	4,900	1,900	
				H17	<	0.5	1.6	0.9	1.0		7.4	8.7		8.5	14.0	11.0		<	1	8	3		110	17,000	3,600	
渡良瀬川(3)	B	渡良瀬大橋	H15		0.8	4.3	1.8	1.9	3	7.3	8.6	6.5~8.5	7.1	14.0	11.0	5	1	10	5	25	790	27,000	6,000	5,000		
			H16		0.8	4.9	2.1	2.4		7.1	8.8		8.1	16.0	11.0		1	18	5		330	22,000	7,800			
			H17		0.5	4.7	1.7	2.3		7.3	9.0		6.8	16.0	10.0		2	9	5		330	79,000	14,000			
渡良瀬川(4)	B	三国橋	H15		1.1	3.3	2.1	2.4	3	7.2	7.7	6.5~8.5	6.8	11.0	9.1	5	2	20	10	25	1,100	92,000	10,000	5,000		
			H16		0.8	6.9	2.7	2.8		7.1	7.9		6.7	13.0	9.2		4	29	14		2	16,000	3,500			
			H17		1.0	5.7	2.5	3.8		7.3	7.8		7.1	12.0	9.1		3	24	13		20	54,000	12,000			

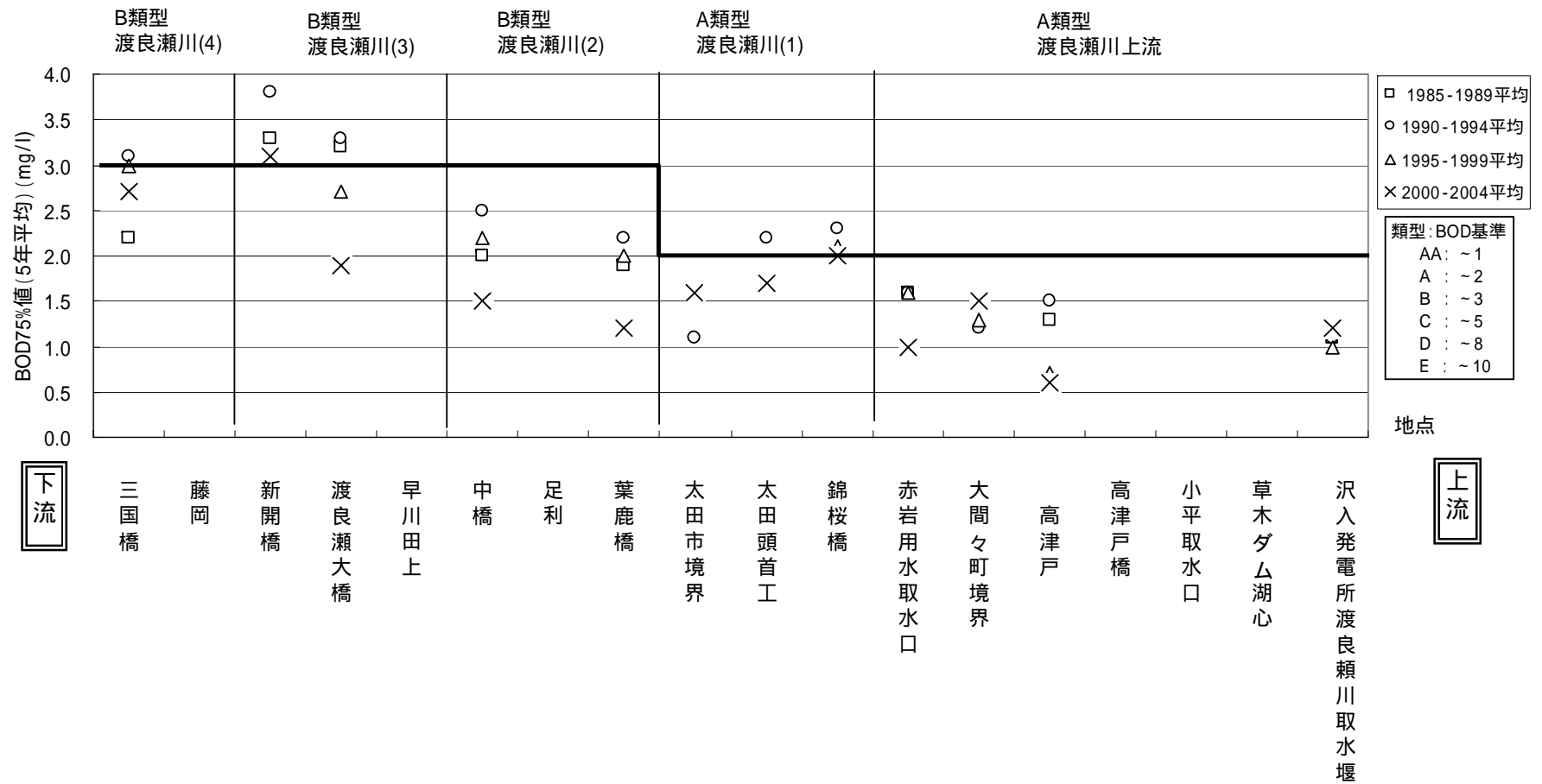
対象	水域	類型	環境基準点	年度	COD(mg/L)					pH			DO(mg/L)				SS(mg/L)				大腸菌群数(MPN/100mL)				
					最小値	最大値	平均値	75%値	基準	最小値	最大値	基準	最小値	最大値	平均値	基準	最小値	最大値	平均値	基準	最小値	最大値	平均値	基準	
湖沼	草木ダム(草木湖)	A・	湖心	H15	0.6	1.6	1.0	1.2	3	7.1	7.9	6.5~8.5	9.1	11.0	10.0	7.5	<	1	12	2	5	0	240	45	1,000
				H16	0.6	2.7	1.8	2.3		6.8	8.2		8.0	12.0	10.0		<	1	8	2		0	220	43	
				H17	0.9	2.0	1.2	1.2		7.0	7.4		9.0	12.0	10.0		<	1	4	1		0	79	19	
	草木ダム(草木湖)	A・	湖心	全窒素(mg/L)					全りん(mg/L)																
				最小値	最大値	平均値	基準	最小値	最大値	平均値	基準														
				H15	0.65	0.85	0.76	-	0.016	0.040	0.021	0.03													
H16	0.62	0.91	0.74	0.011	0.050	0.024																			
H17	0.65	1.00	0.87	<	0.010	0.010	0.010																		

出典：公共用水域の水質測定結果

公共用水域の水質測定結果(平成15~17年度)

湖沼NP類型：全窒素の項目の基準値は除く。

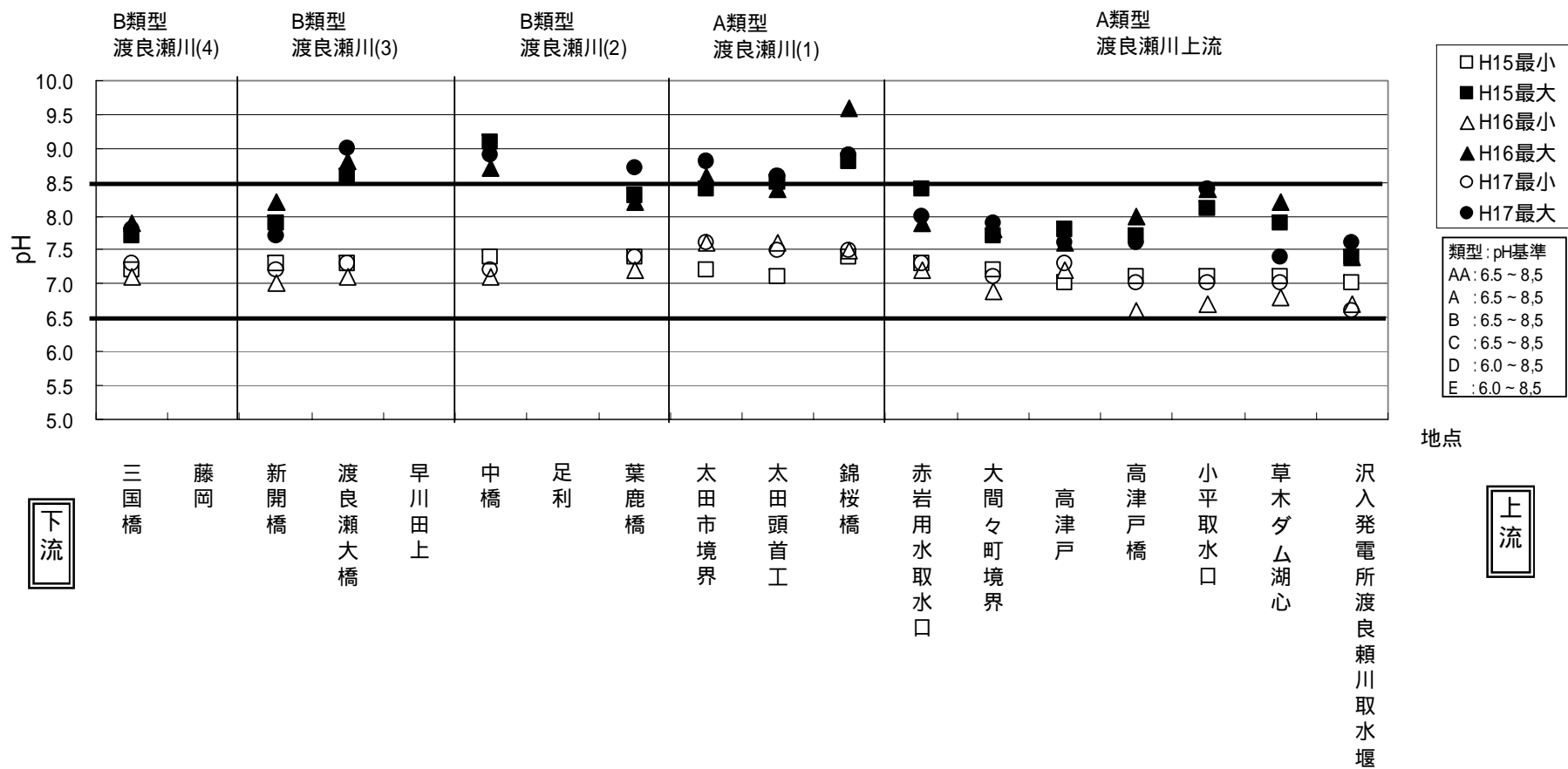
水質汚濁防止法の規定に基づき、全国の都道府県が毎年定める測定計画に従って、都道府県・水質汚濁防止法政令市のほか、一級河川のうち国の直轄管理区間については国土交通省地方整備局によって実施される。原則、河川は表層(水深の2割程度)、湖沼は表層(成層期には成層を配慮)、海域は表層・中層(必要に応じて下層)の測定結果である。



地点：環境基準点()・補助点()・流量測定点()

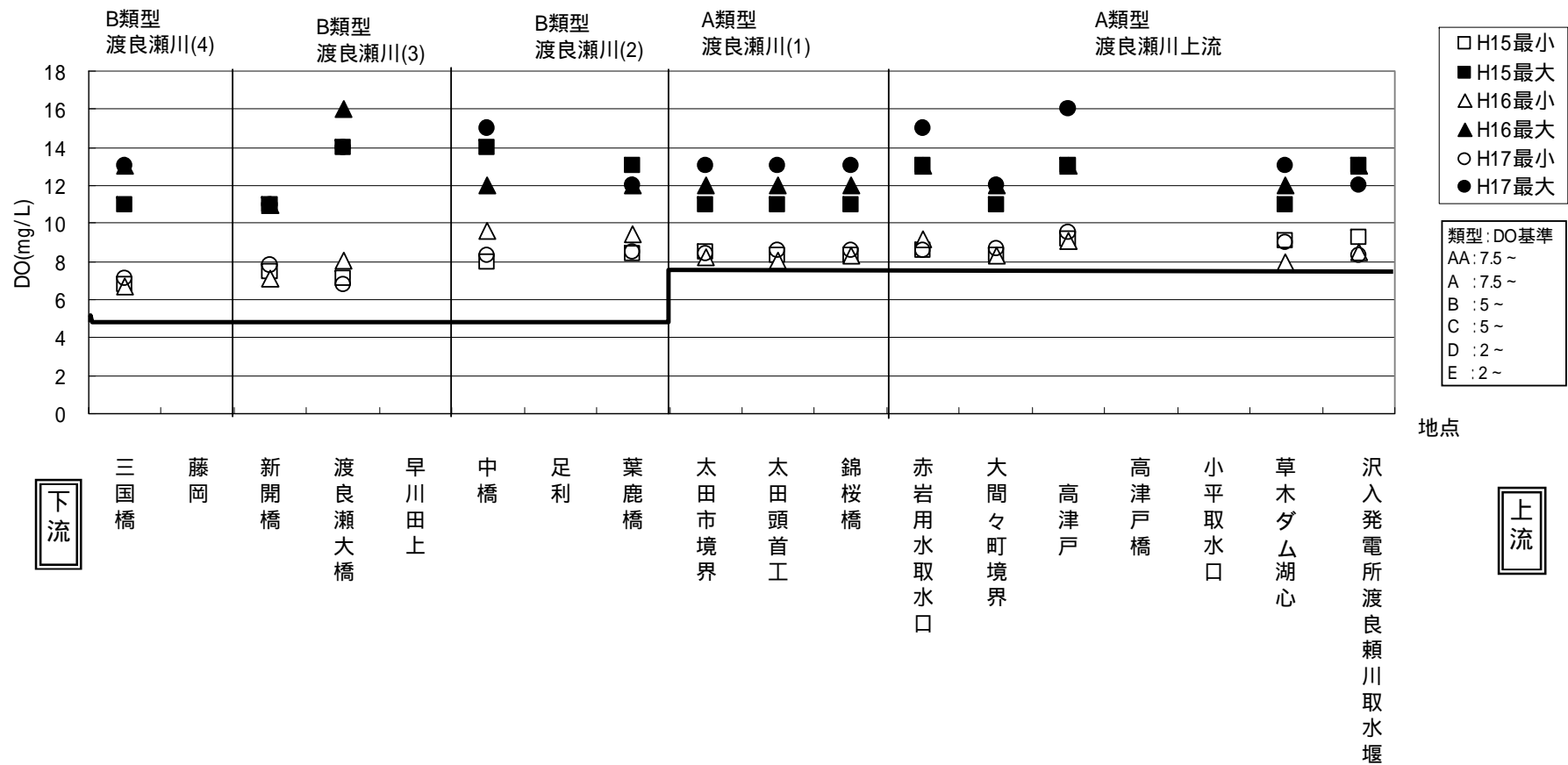
渡良瀬川 BOD75%値 縦断分布図

本資料は検討中のもので修正する場合がある。



渡良瀬川 pH縦断分布図

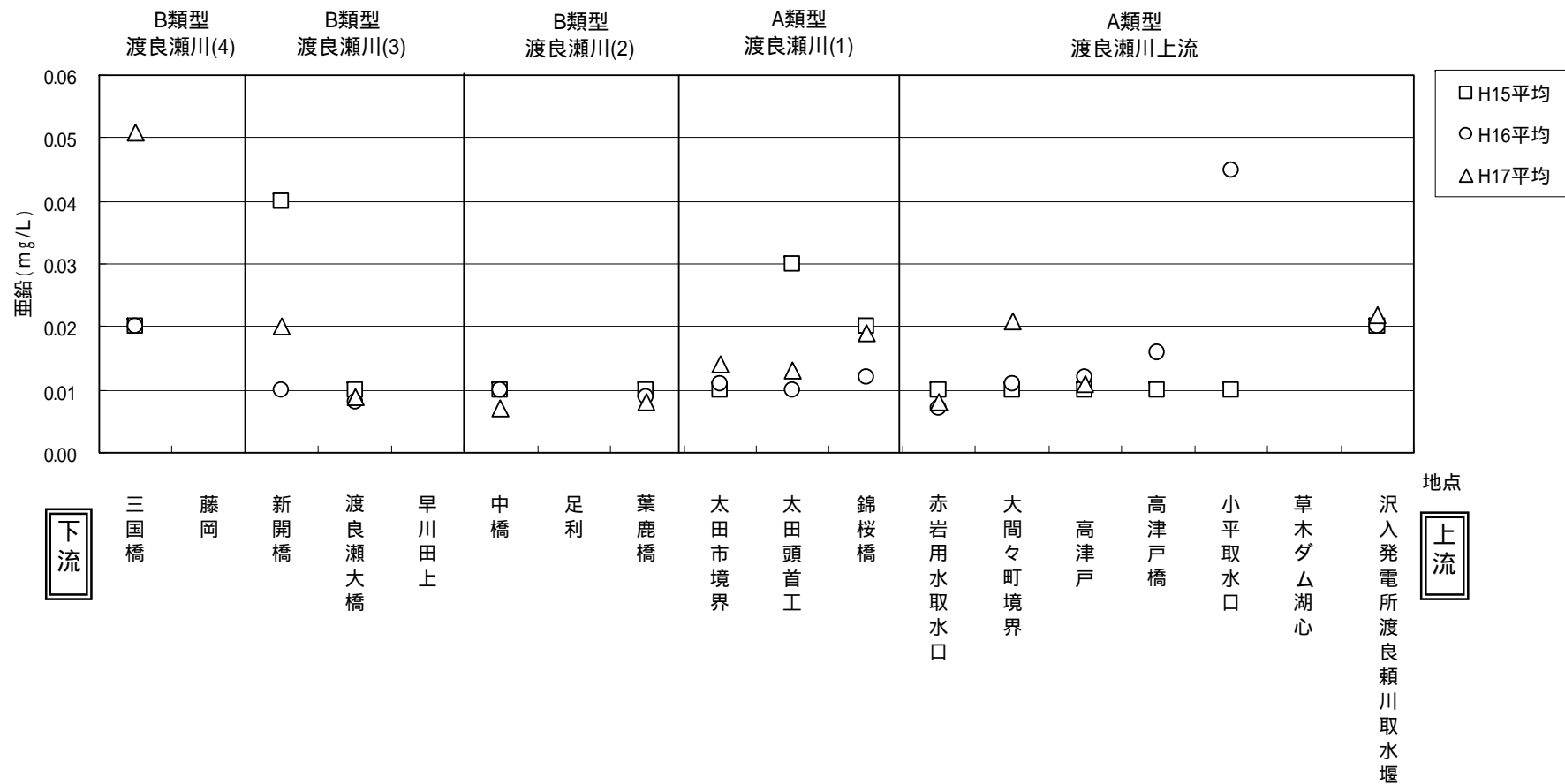
地点: 環境基準点()・補助点()・流量測定点()



渡良瀬川 DO縦断分布図

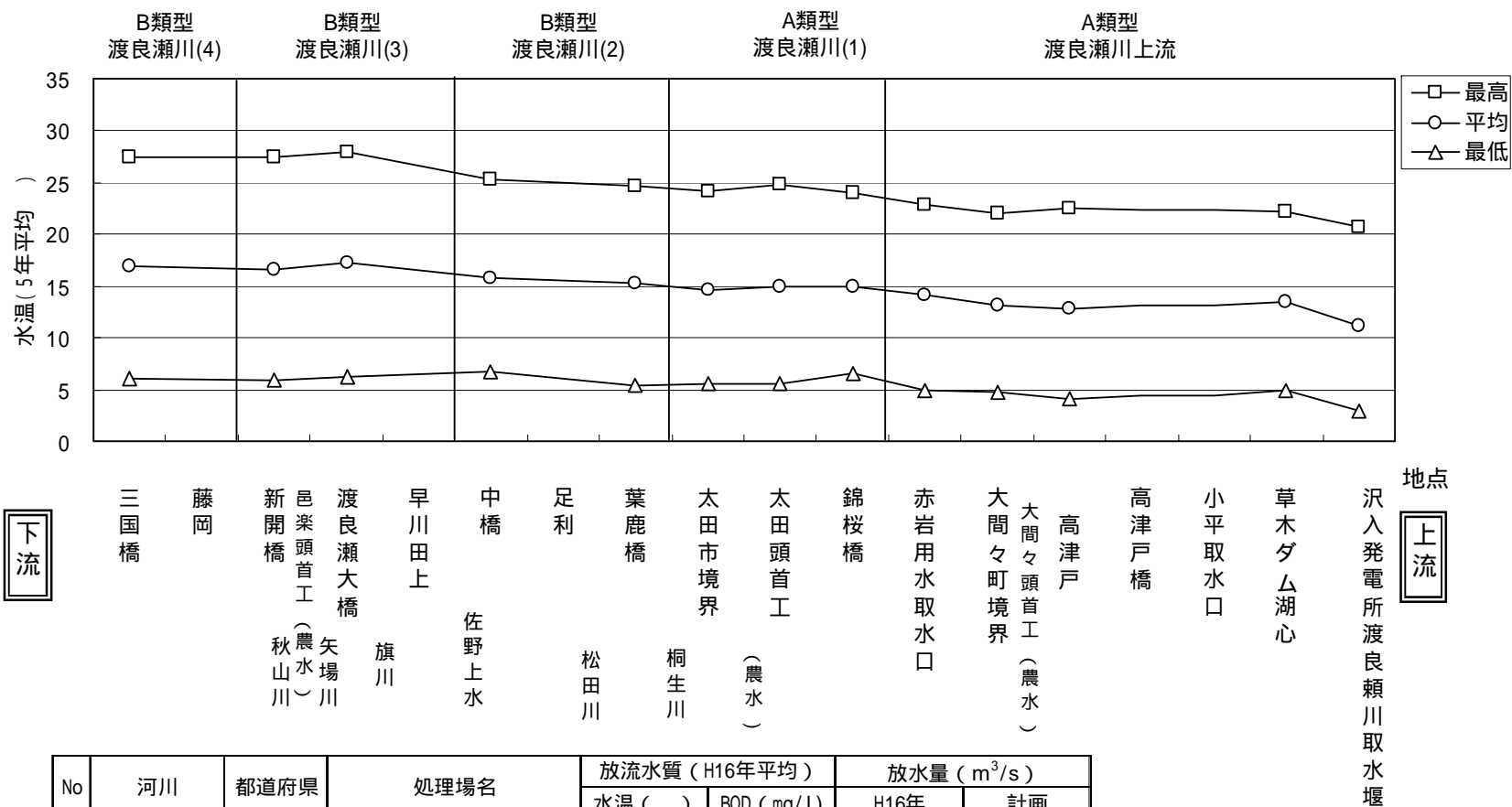
地点: 環境基準点()・補助点()・流量測定点()

本資料は検討中のもので修正する場合がある。



地点：環境基準点()・補助点()・流量測定点()
 年度平均値が<0.01、<0.03(定量下限値未満)の地点については、0.01及び0.03とみなしてプロットした。また、定量下限値が<0.05の地点のデータは除外した。

渡良瀬川 亜鉛縦断分布図



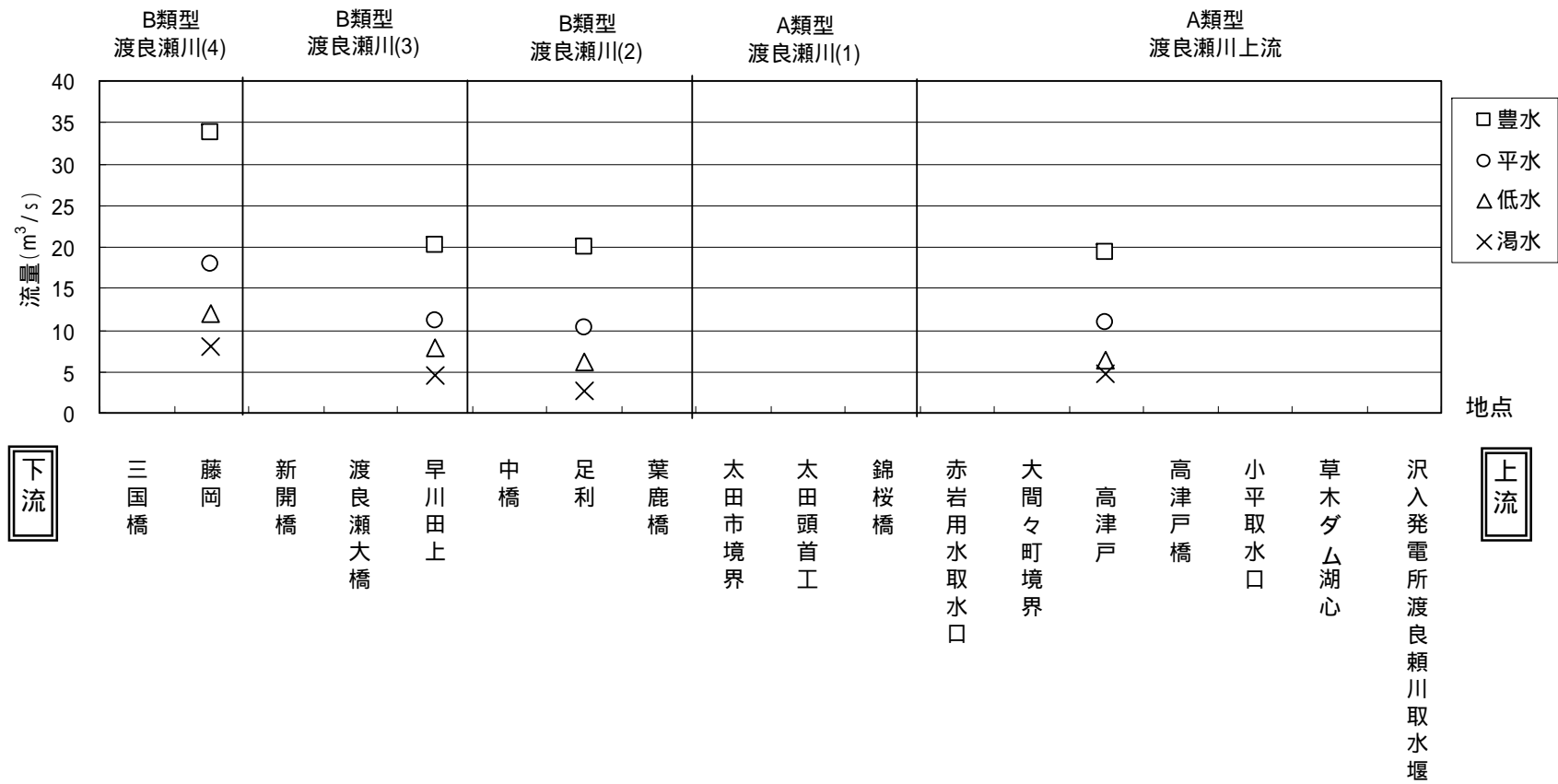
出典:平成16年度版下水道統計(行政編)

最高・平均・最低は、平成12～16年度の公共用水域水質測定結果より、各年度において、月平均水温の年最高値・年平均値・年最低値を求め、5カ年でそれぞれ平均した値である。一部で月1回以上の頻度で計測していない地点がある。

地点:環境基準点()・補助点()・流量測定点()
ダム湖の水温は表層データを示した。

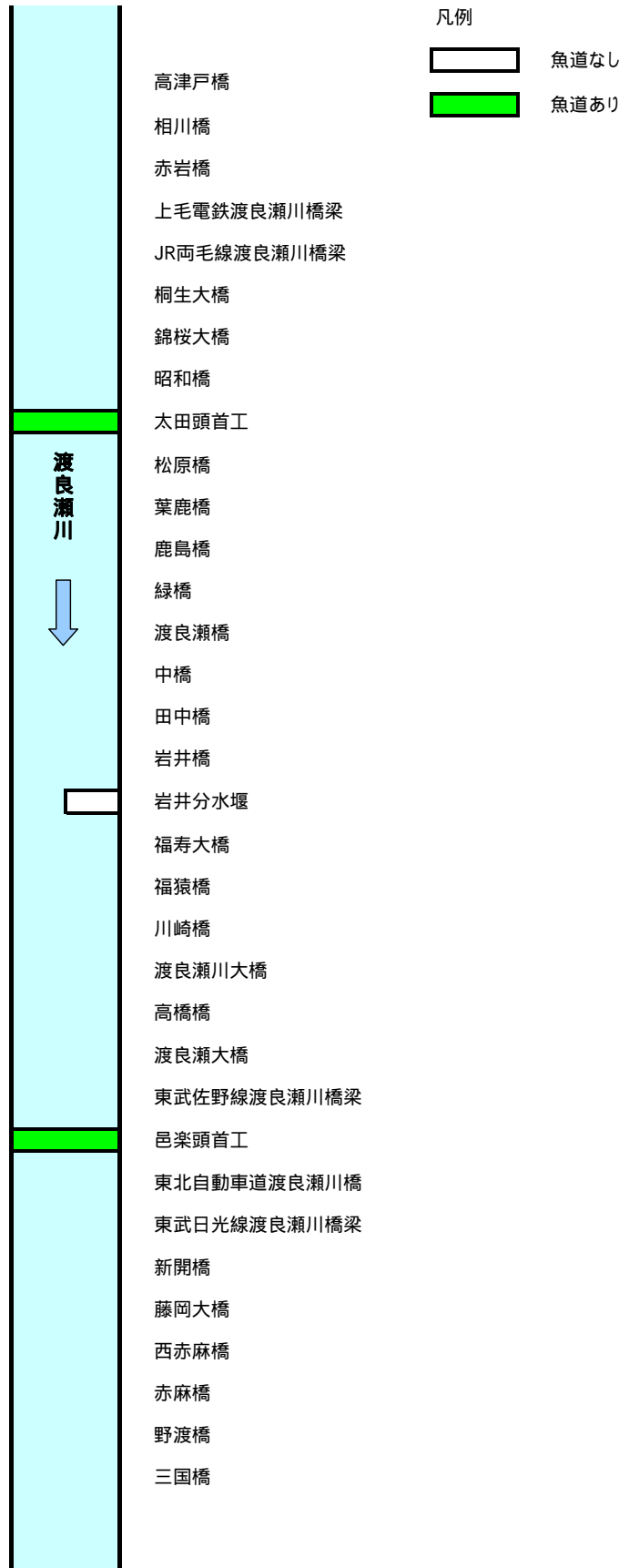
本資料は検討中のもので修正する場合がある。

渡良瀬川 水温縦断分布図



渡良瀬川 流量縦断分布図

地点：環境基準点()・補助点()・流量測定点()



主な河川横断工作物(渡良瀬川)

出典:国土交通省資料

※本資料は検討中のものであり修正する場合がある。

渡良瀬川魚介類の確認状況(既存調査結果)(2/4)

項目・分類・科・種名		調査地点		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
		調査時期	調査時期	思川合流点付近	渡良瀬遊水池(ダム湖内)	渡良瀬遊水池(ダム湖内)	渡良瀬遊水池(ダム湖内)	三杉川合流点	秋山川合流点	旗川合流点	岩井山右岸	緑橋下流	鹿島橋上流	太田頭首工上流	桐生大橋		
その他	魚類	ナマズ科	ギバチ														
		アメリカナマズ科	アメリカナマズ														
		スズキ科	スズキ														
		スズキ目	スズキ目的一种														
		サンフィッシュ科	ブルーギル														
		サンフィッシュ科	オオクチバス(ブラックバス)														
		ハゼ科	ウキゴリ														
		ハゼ科	スミウキゴリ														
		ハゼ科	マハゼ														
		ハゼ科	ヌマチチブ														
		タイワンドジョウ科	カムルチー														
		甲殻類	アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ													
			サワガニ科	サワガニ													

分類体系は山溪カラー図鑑日本の淡水魚(山と溪谷社,1989)・学研生物図鑑魚類(学習研究社, 1983)・新日本動物図鑑(中)(北隆館,1965)等を参考とした。

データの出典:調査機関・名称・年度

国土交通省、河川水辺の国勢調査、平成14年度(7・9・11月)調査

国土交通省、河川水辺の国勢調査、平成14年度(8・10月)調査

国土交通省、河川水辺の国勢調査、平成13年度(7・10月)調査(渡良瀬遊水池)

国土交通省、河川水辺の国勢調査、平成13年度(7・10月)調査(草木ダム)

藤岡市、藤岡町史自然編、平成2～12年度データ

※本資料は検討中のものであり修正する場合がある。

渡良瀬川魚介類の確認状況(既存調査結果)(4/4)

		調査地点		13	14	15	16	17	18	19	20	
		調査時期	錦桜橋	相川橋	貴船橋	花輪	草木ダム △湖内 △夕	草木ダム △湖内 △夕	草木ダム △湖内 △夕	沢入橋		
項目・分類・科・種名	調査時期	平成2～12年度	平成14年度 (8・10月)	平成2～12年度	平成2～12年度	平成13年度 (7・10月)	平成13年度 (7・10月)	平成13年度 (7・10月)	平成2～12年度			
その他	魚類	ナマズ科	ギバチ									
		アメリカナマズ科	アメリカナマズ									
		スズキ科	スズキ									
		スズキ目	スズキ目的一种									
		サンフィッシュ科	ブルーギル									
		サンフィッシュ科	オオクチバス(ブラックバス)									
		ハゼ科	ウキゴリ									
		ハゼ科	スミウキゴリ									
		ハゼ科	マハゼ									
		ハゼ科	ヌマチチブ									
		タイワンドジョウ科	カムルチー									
		甲殻類	アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ								
			サワガニ科	サワガニ								

分類体系は山溪カラー図鑑日本の淡水魚(山と溪谷社,1989)・学研生物図鑑魚類(学習研究社,1983)・新日本動物図鑑(中)(北隆館,1965)等を参考とした。

データの出典:調査機関・名称・年度

国土交通省、河川水辺の国勢調査、平成14年度(7・9・11月)調査

国土交通省、河川水辺の国勢調査、平成14年度(8・10月)調査

国土交通省、河川水辺の国勢調査、平成13年度(7・10月)調査(渡良瀬遊水池)

国土交通省、河川水辺の国勢調査、平成13年度(7・10月)調査(草木ダム)

藤岡市、藤岡町史自然編、平成2～12年度データ

近年の水質状況(神流川)

対象	水域	類型	環境基準点	年度	BOD(mg/L)					pH			DO(mg/L)				SS(mg/L)				大腸菌群数(MPN/100mL)					
					最小値	最大値	平均値	75%値	基準	最小値	最大値	基準	最小値	最大値	平均値	基準	最小値	最大値	平均値	基準	最小値	最大値	平均値	基準		
河川	神流川(1)	A	森戸橋	H15	<	0.5	0.9	0.6	0.5	2	7.8	9.0	6.5~8.5	8.9	13.0	11.0	7.5	<	1	54	7	25	49	9,300	1,800	1,000
				H16	<	0.5	0.6	0.5	< 0.5		7.6	8.5		8.8	14.0	11.0		<	1	58	9		46	2,700	1,100	
				H17	<	0.5	2.5	0.7	< 0.5		7.9	8.3		8.6	15.0	11.0		<	1	1	1		0	3,300	1,000	
	神流川(2)	A	藤武橋	H15	<	0.5	1.3	0.8	0.9	2	7.8	9.7	6.5~8.5	7.7	14.0	11.0	7.5	<	1	12	3	25	23	13,000	3,100	1,000
				H16	<	0.5	1.3	0.7	0.8		7.5	9.2		7.7	13.0	11.0		<	1	15	5		33	17,000	2,700	
				H17	<	0.5	1.3	0.8	1.0		7.7	9.4		6.8	16.0	11.0		<	1	7	2		33	7,900	1,800	
	神流川(3)	A	神流川橋	H15	<	0.5	1.6	0.9	0.9	2	7.7	9.8	6.5~8.5	7.5	15.0	11.0	7.5	<	1	10	3	25	23	5,400	1,600	1,000
				H16	<	0.5	1.3	0.7	0.9		7.6	9.2		7.3	13.0	11.0		<	1	10	3		14	4,900	1,200	
				H17	<	0.5	1.3	0.8	0.9		7.7	9.6		7.2	15.0	11.0		<	1	4	2		23	24,000	2,900	

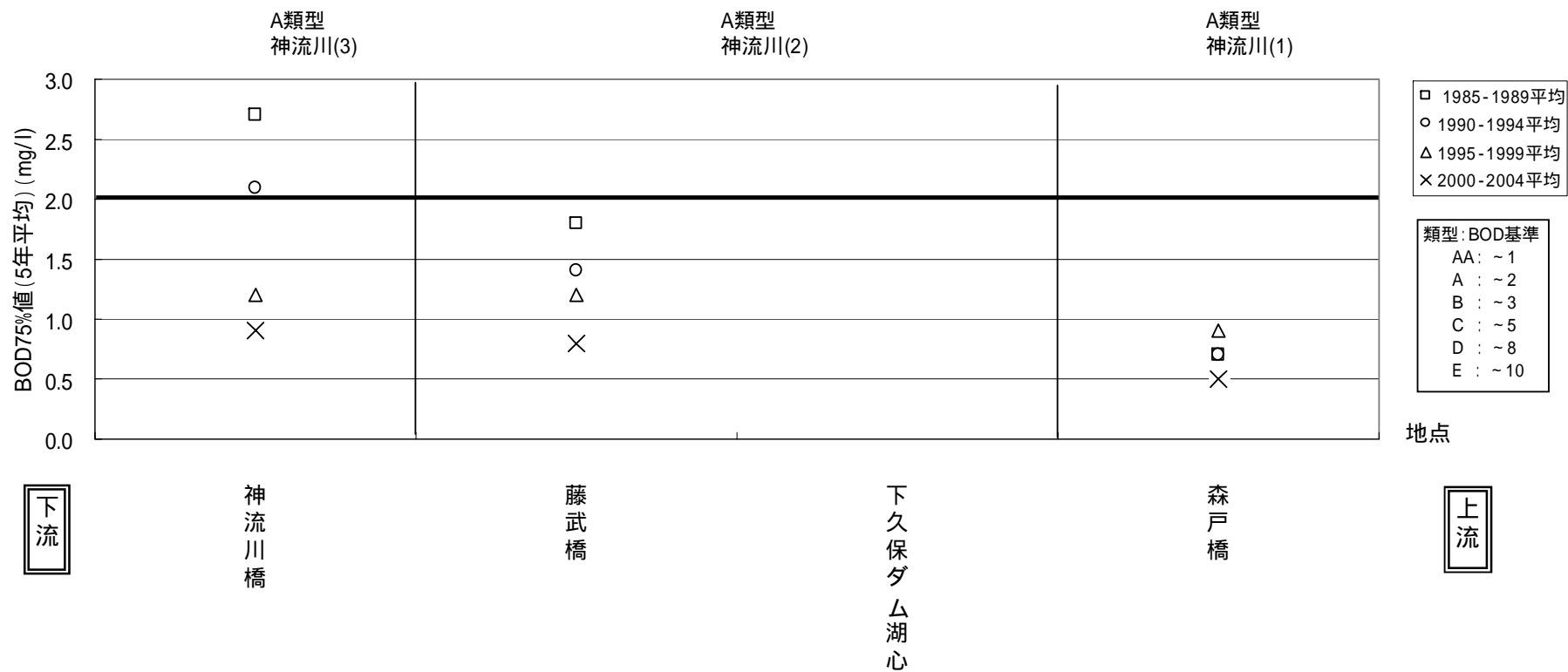
対象	水域	類型	環境基準点	年度	COD(mg/L)					pH			DO(mg/L)				SS(mg/L)				大腸菌群数(MPN/100mL)				
					最小値	最大値	平均値	75%値	基準	最小値	最大値	基準	最小値	最大値	平均値	基準	最小値	最大値	平均値	基準	最小値	最大値	平均値	基準	
湖沼	下久保ダム (神流湖)	A・	湖心	H15	0.9	2.3	1.5	1.7	3	7.4	9.3	6.5~8.5	9.0	11.0	10	7.5	<	1	9	2	5	0	2,200	230	1,000
				H16	0.9	2.4	1.6	1.7		7.5	8.8		8.8	12.0	9.9		<	1	33	7		11	3,500	460	
				H17	0.9	4.3	1.9	2.1		7.8	9.4		9.2	13.0	11		<	1	5	2		0	130	31	
	下久保ダム (神流湖)	A・	湖心	年度	全窒素(mg/L)				全りん(mg/L)				0.03												
					最小値	最大値	平均値	基準	最小値	最大値	平均値	基準													
					H15	0.97	1.40	1.20		0.005	0.035	0.013													
	H16	1.00	1.80	1.30	-	0.005	0.065	0.023																	
	H17	0.84	1.20	1.10		0.006	0.023	0.011																	

出典：公共用水域の水質測定結果

公共用水域の水質測定結果(平成15~17年度)

湖沼NP類型：全窒素の項目の基準値は除く。

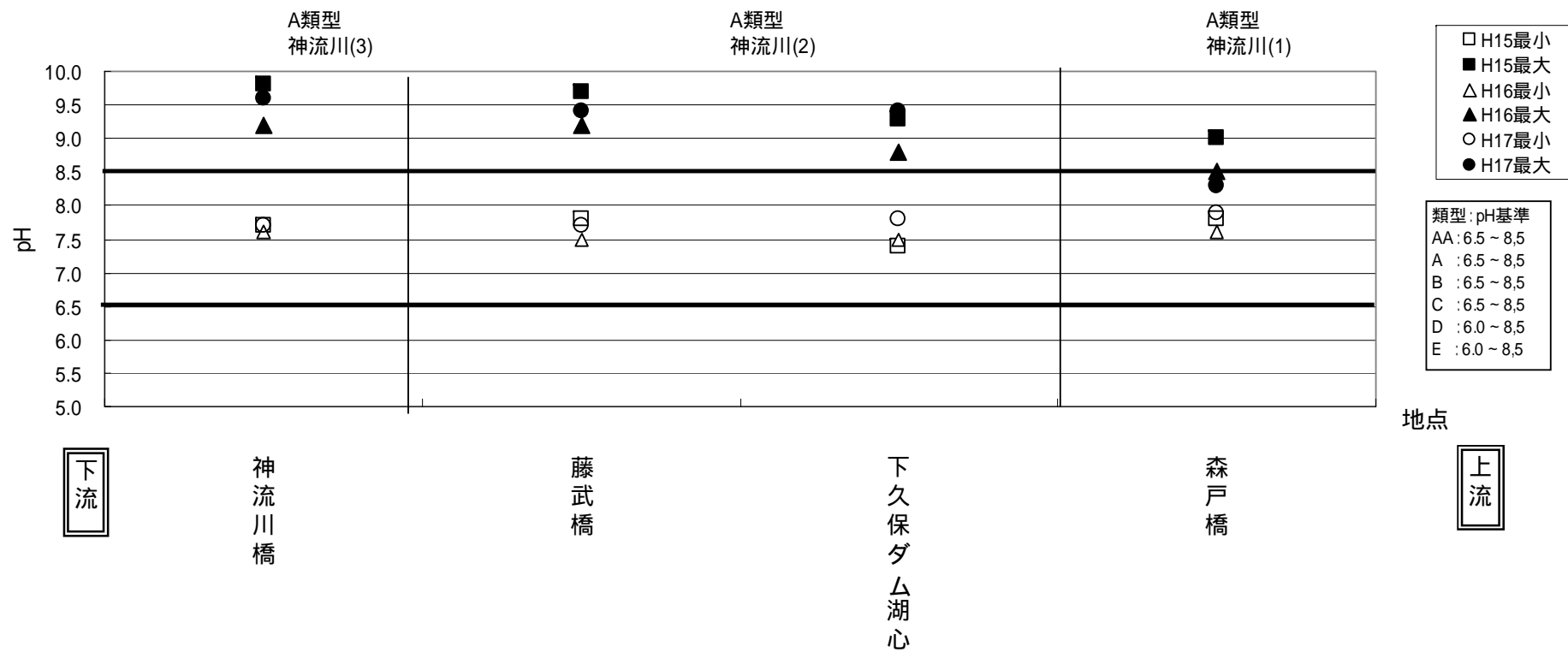
水質汚濁防止法の規定に基づき、全国の都道府県が毎年定める測定計画に従って、都道府県・水質汚濁防止法政令市のほか、一級河川のうち国の直轄管理区間については国土交通省地方整備局によって実施される。原則、河川は表層(水深の2割程度)、湖沼は表層(成層期には成層を配慮)、海域は表層・中層(必要に応じて下層)の測定結果である。



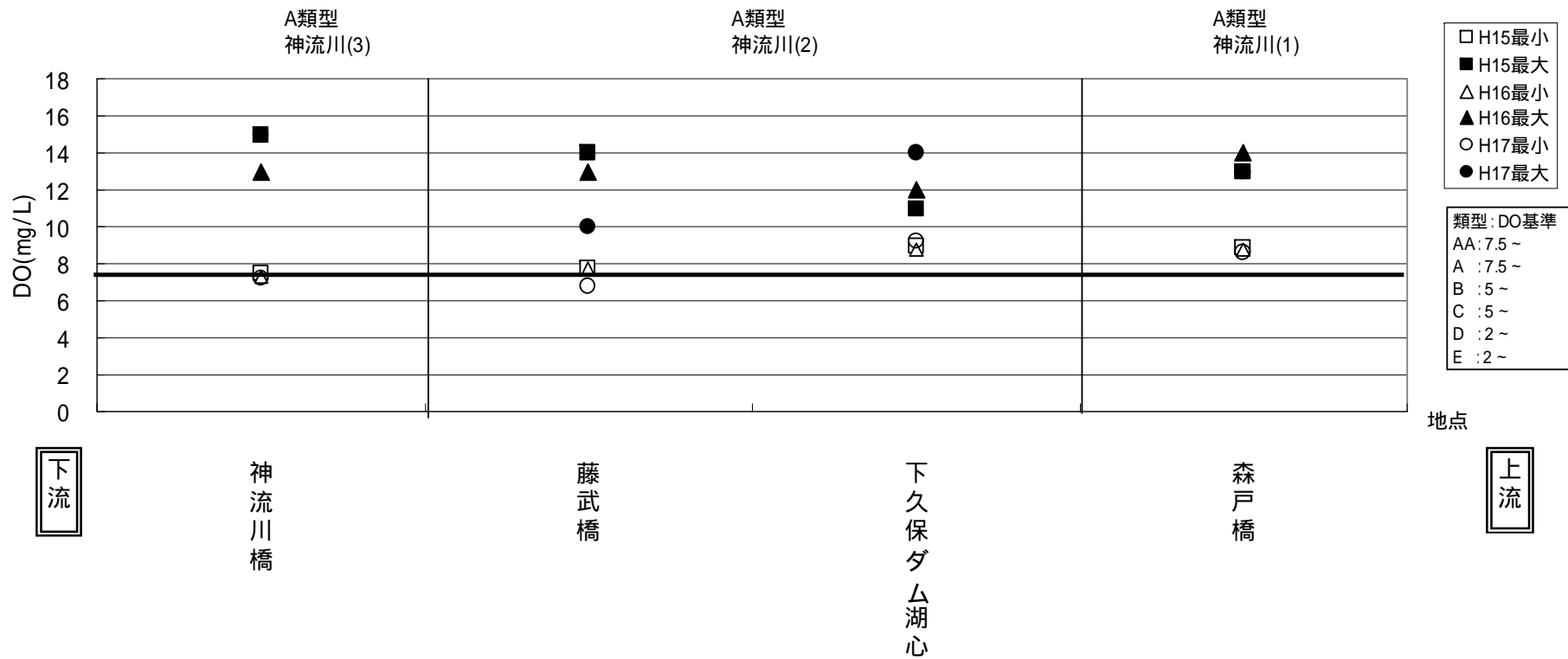
地点：環境基準点()・補助点()・流量測定点()

神流川 BOD75%値 縦断分布図

本資料は検討中のもので修正する場合がある。



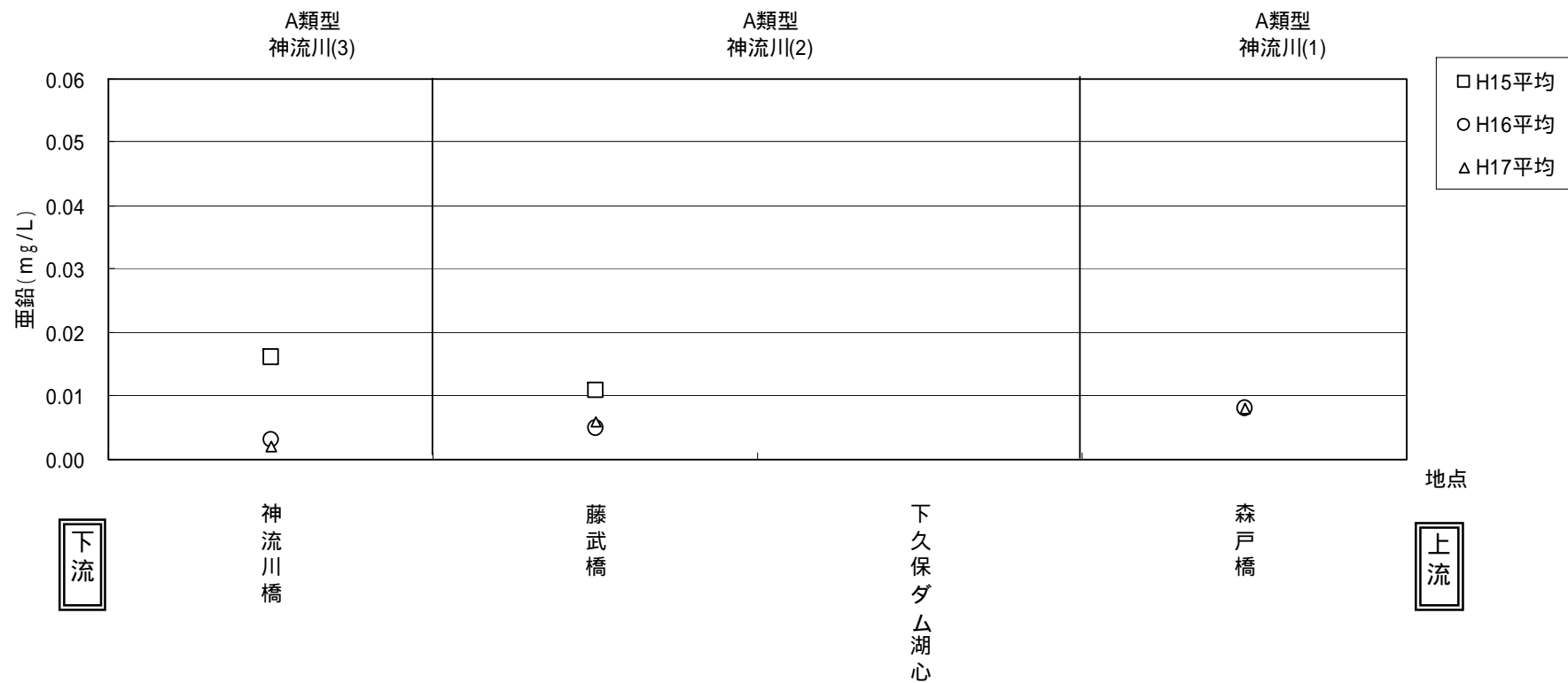
本資料は検討中のもので修正する場合がある。



神流川 DO縦断分布図

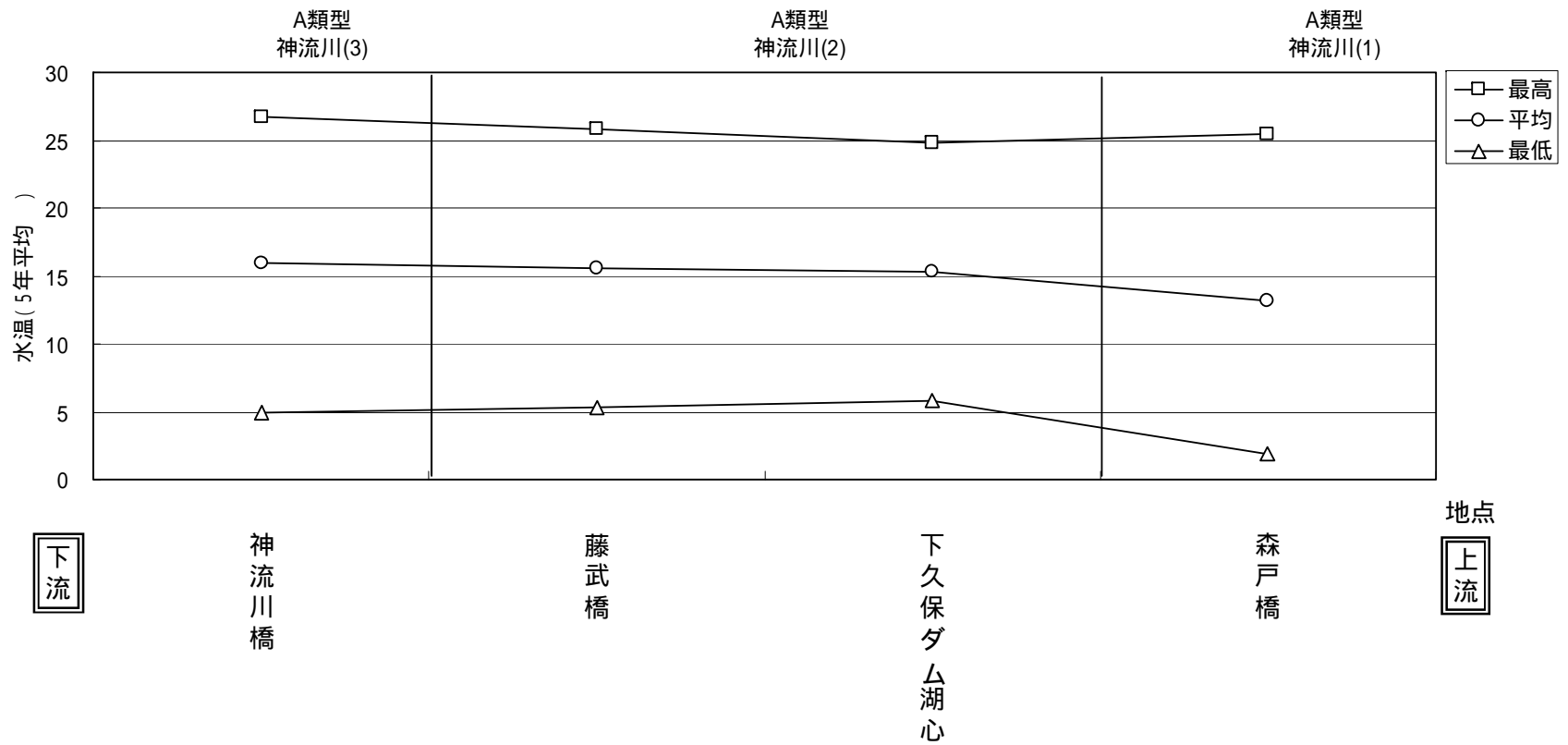
地点：環境基準点()・補助点()・流量測定点()

本資料は検討中のもので修正する場合がある。



地点：環境基準点()・補助点()・流量測定点()
 年度平均値が<0.01、<0.03(定量下限値未満)の地点については、0.01及び0.03とみなしてプロットした。また、定量下限値が<0.05の地点のデータは除外した。

神流川 亜鉛縦断分布図

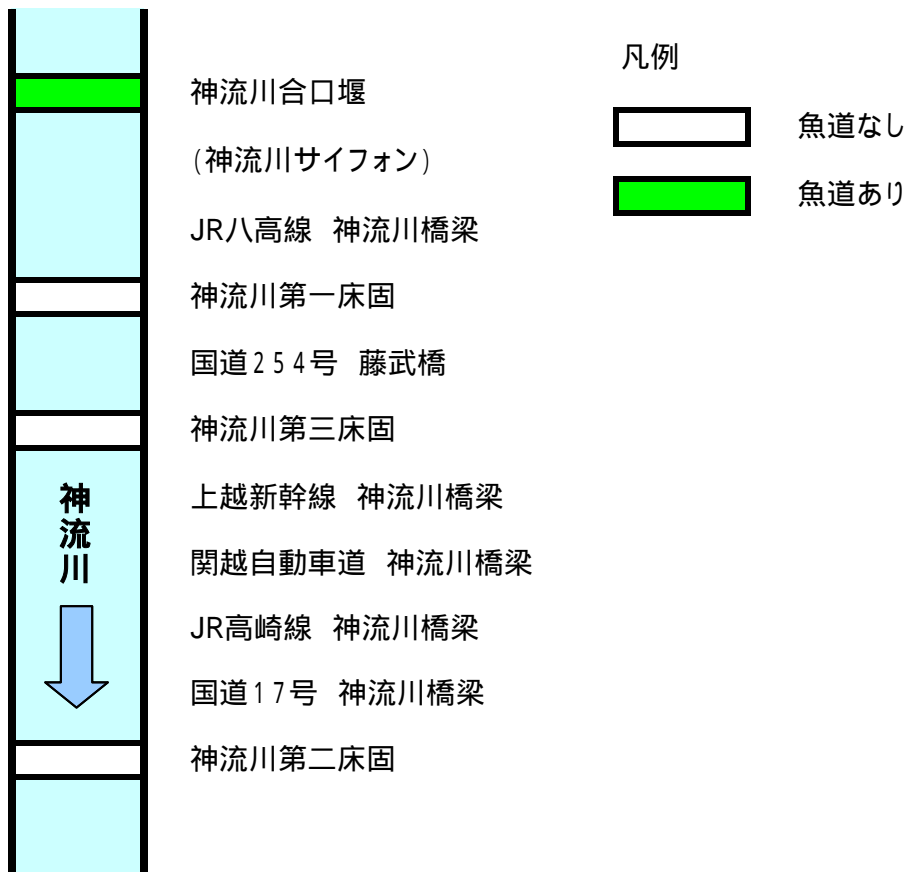


最高・平均・最低は、平成12～16年度の公共用水域水質測定結果より、各年度において、月平均水温の年最高値・年平均値・年最低値を求め、5ヵ年でそれぞれ平均した値である。一部で月1回以上の頻度で計測していない地点がある。

地点:環境基準点()・補助点()・流量測定点()
ダム湖の水温は表層データを示した。

神流川 水温縦断分布図

本資料は検討中のもので修正する場合がある。



主な河川横断工作物(神流川)

出典:国土交通省資料

神流川魚介類の確認状況(既存調査結果)(1/1) ※本資料は検討中のものであり修正する場合がある。

項目・分類・科・種名				調査地点								
				1 渡瀬 小前	2 渡戸 橋湖 神水	3 神水 湖 保ダム 下久	4 下久 保ダム (ダム 湖内)	5 下久 保ダム (ダム 湖内)	6 下久 保ダム (ダム 湖内)	7 上野 村内 (本 流)		
調査時期				平成12年度(8・12月)	平成5～9年	平成5～9年	平成13年度(7月)	平成13年度(7月)	平成13年度(7月)	平成8～10年		
生物A	魚類	サケ科	ヤマメ									
		サケ科	イワナ									
		サケ科	ニジマス									
		カジカ科	カジカ									
その他	魚類	キュウリウオ科	アユ									
		キュウリウオ科	ワカサギ									
生物B	魚類	ウナギ科	ウナギ									
		コイ科	コイ									
		コイ科	フナ類(ゲンゴロウブナ)									
		コイ科	フナ類(ギンブナ)									
		コイ科	フナ類(キンブナ)									
		コイ科	オイカワ									
		コイ科	ウグイ									
		ドジョウ科	ドジョウ									
		ナマズ科	ナマズ									
		ハゼ科	ヨシノボリ類(トウヨシノボリ)									
		甲殻類	テナガエビ科	テナガエビ								
			ヌマエビ科	ヌカエビ								
		その他	魚類	コイ科	ワタカ							
				コイ科	ハス							
コイ科	カワムツB型											
コイ科	ホンモロコ											
コイ科	カマツカ											
コイ科	ツチフキ											
コイ科	ニゴイ											
コイ科	スゴモロコ											
ドジョウ科	シマドジョウ											
ナマズ科	ギバチ											
サンフィッシュ科	オオクチバス(ブラックバス)											
ハゼ科	ウキゴリ											
ハゼ科	ヌマチチブ											
甲殻類	アメリカザリガニ科			アメリカザリガニ								
貝類	サカマキガイ科			サカマキガイ								

分類体系は山溪カラー図鑑日本の淡水魚(山と渓谷社,1989)・学研生物図鑑魚類(学習研究社,1983)・新日本動物図鑑(中)(北隆館,1965)等を参考とした。

データの出典:調査機関・名称・年度

埼玉県、河川水辺の国勢調査、平成12年度(8・12月)調査

国土交通省、河川水辺の国勢調査、平成13年度(7月)調査(下久保ダム)

群馬県上野村、上野村誌 上野村の自然(動物)、平成8～10年調査データ

埼玉県神泉村、神泉村誌 自然編(平成11年3月)、本誌作成期間(平成5～9年)時の調査データ

近年の水質状況(荒川)(1)

対象	水域	類型	環境基準点	年度	BOD(mg/L)					pH			DO(mg/L)				SS(mg/L)				大腸菌群数(MPN/100mL)			
					最小値	最大値	平均値	75%値	基準	最小値	最大値	基準	最小値	最大値	平均値	基準	最小値	最大値	平均値	基準	最小値	最大値	平均値	基準
荒川	荒川上流(1)	AA	中津川合流点前	H15	< 0.5	1.0	0.6	< 0.5	1	7.5	8.1	6.5~8.5	8.8	13.0	11.0	7.5	< 1	5	1	25	33	13,000	3,200	50
				H16	< 0.5	1.3	0.6	< 0.5	7.3	8.3	8.9		13.0	11.0	< 1	4	2	79	3,300	1,200				
				H17	< 0.5	0.8	0.5	0.5	7.8	8.2	8.5		13.0	11.0	< 1	3	1	33	3,500	1,100				
	荒川上流(2)	AA	親鼻橋	H15	< 0.5	1.4	0.8	1.0	1	7.4	8.5	6.5~8.5	8.5	14.0	10.0	7.5	< 1	12	3	25	450	54,000	19,000	50
				H16	< 0.5	1.7	0.7	0.6	7.0	9.3	8.9		14.0	11.0	< 1	2	1	2,300	92,000	21,000				
				H17	< 0.5	1.9	0.8	0.8	8.0	8.8	8.1		17.0	12.0	< 1	17	3	490	170,000	43,000				
		正喜橋	H15	< 0.5	2.0	0.8	0.8	7.9	8.7	8.4	13.0	10.0	< 1	3	1	4,900	130,000	33,000						
			H16	< 0.5	1.3	0.6	< 0.5	7.4	8.5	6.3	13.0	10.0	< 1	5	2	780	35,000	7,300						
			H17	< 0.5	1.5	0.7	0.6	7.7	8.6	7.9	13.0	10.0	< 1	7	2	450	54,000	8,300						
	荒川中流	B	久下橋	H15	0.5	2.2	1.1	1.4	3	7.5	8.9	6.5~8.5	5.7	14.0	9.8	5	< 1	8	3	25	2,300	92,000	21,000	5,000
				H16	< 0.5	2.3	0.9	0.9	7.1	8.8	5.5		13.0	9.3	< 1	11	3	780	540,000	51,000				
				H17	< 0.5	2.1	1.1	1.4	7.4	9.2	6.9		14.0	9.8	< 1	10	4	1,100	24,000	6,100				
			開平橋	H15	< 0.5	3.0	1.3	1.5	7.5	7.7	7.3	12.0	9.9	4	79	21	7,000	490,000	74,000					
				H16	< 0.5	1.5	0.9	1.1	7.5	8.2	7.4	14.0	10.0	4	21	11	790	54,000	15,000					
				H17	< 0.5	2.5	1.3	1.5	7.3	7.9	7.9	12.0	9.8	4	38	13	1,700	92,000	24,000					
		治水橋	H15	0.6	2.7	1.4	1.5	7.5	7.8	7.3	11.0	9.6	3	31	7	7,000	540,000	83,000						
			H16	< 0.5	1.4	1.0	1.3	7.4	8.6	7.0	13.0	9.9	2	14	7	3,100	54,000	17,000						
			H17	0.6	2.8	1.2	1.4	7.3	7.8	7.2	13.0	9.7	2	22	9	4,900	79,000	25,000						
荒川下流(1)	C	笹目橋	H15	1.9	5.8	3.5	4.3	5	7.1	7.8	6.0~8.5	5.8	12.0	8.6	5	5	110	12	50	790	49,000	17,000	-	
			H16	1.9	7.9	4.1	4.3	7.3	8.3	5.6		11.0	8.7	2	24	11	490	170,000	34,000					
			H17	1.7	5.6	3.8	4.9	7.3	7.6	6.1		12.0	8.9	4	18	9	130	13,000	4,100					
荒川下流(2)	堀切橋	H15	1.2	4.2	2.7	3.4	7.1	7.5	4.4	8.6	6.4	3	46	17	1,100	170,000	27,000							
		H16	0.6	3.7	2.4	3.1	7.1	8.2	3.7	9.4	6.2	4	59	17	790	49,000	13,000							
		H17	1.2	5.2	2.4	2.6	7.2	7.5	3.3	10.0	5.9	8	57	17	490	17,000	4,800							
荒川下流(2)	葛西橋	H15	0.8	2.8	1.7	2.2	7.2	8.1	4.7	9.4	6.9	8	25	15	79	330,000	30,000							
		H16	0.9	2.3	1.5	1.6	7.4	8.4	4.1	10.0	6.9	4	52	14	33	79,000	11,000							
		H17	0.7	2.6	1.8	2.1	7.3	8.1	3.9	9.5	6.5	8	48	19	33	4,900	2,300							

近年の水質状況(荒川)(2)

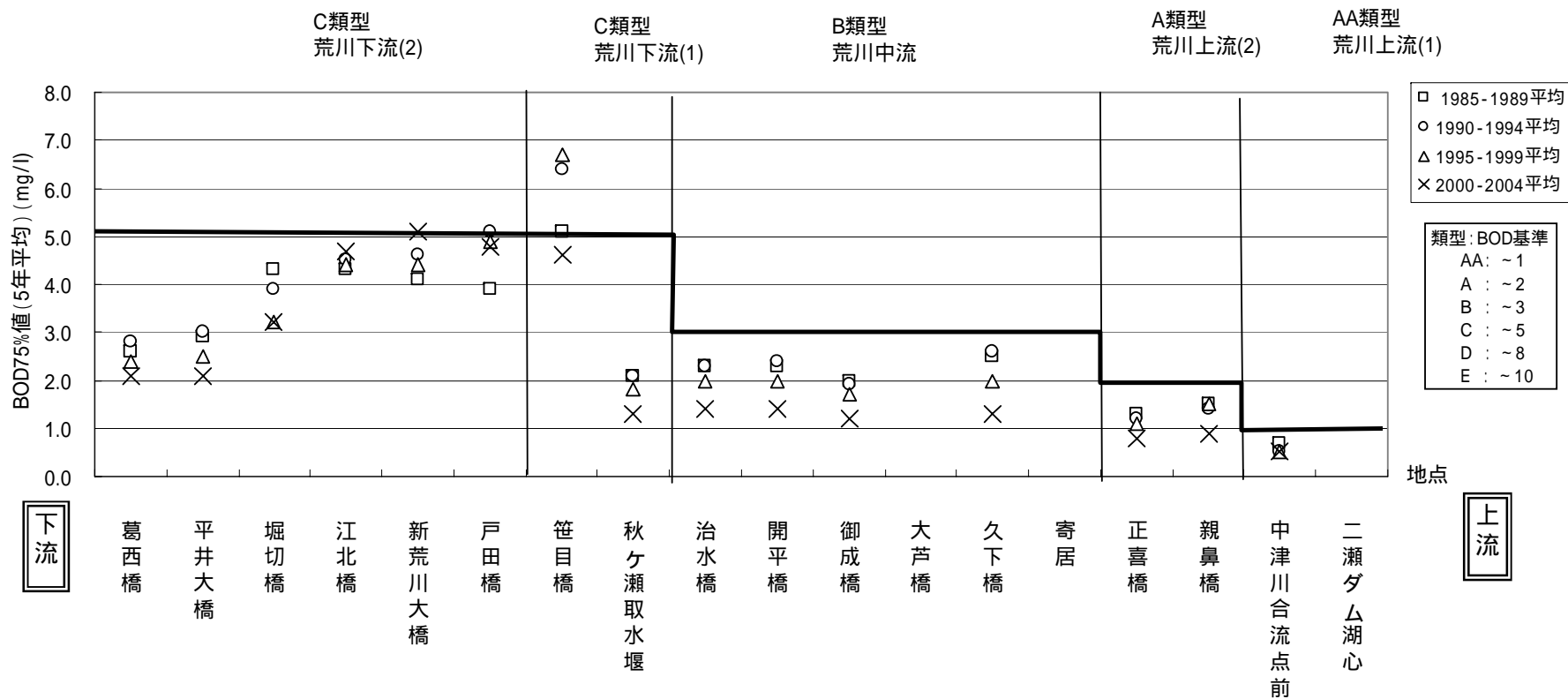
対象	水域	類型 COD・NP	環境基準点	年度	COD(mg/L)					pH			DO(mg/L)				SS(mg/L)				大腸菌群数(MPN/100mL)			
					最小値	最大値	平均値	75%値	基準	最小値	最大値	基準	最小値	最大値	平均値	基準	最小値	最大値	平均値	基準	最小値	最大値	平均値	基準
湖沼	二瀬ダム貯水池	A・	湖心	H15	1.2	2.8	1.7	1.9	3	7.0	9.6	6.5~8.5	2.1	13.0	9.9	7.5	< 1	5	2	5	17	35,000	4,300	1,000
				H16	1.2	2.1	1.6	1.8		6.8	8.4		7.8	11.0	9.7		< 1	4	1		45	9,200	1,400	
				H17	0.8	2.7	1.9	2.3		7.5	8.8		8.8	12.0	9.8		< 1	4	2		11	5,400	900	
	水域名称	類型 COD・NP	環境基準点	年度	全窒素(mg/L)				全りん(mg/L)															
					最小値	最大値	平均値	基準	最小値	最大値	平均値	基準												
	二瀬ダム貯水池	A・	湖心	H15	0.33	0.74	0.54	-	0.007	0.023	0.014	0.03												
				H16	0.49	0.70	0.54		0.005	0.026	0.013													
				H17	0.47	0.93	0.58		0.006	0.039	0.013													

出典：公共用水域の水質測定結果

公共用水域の水質測定結果(平成15~17年度)

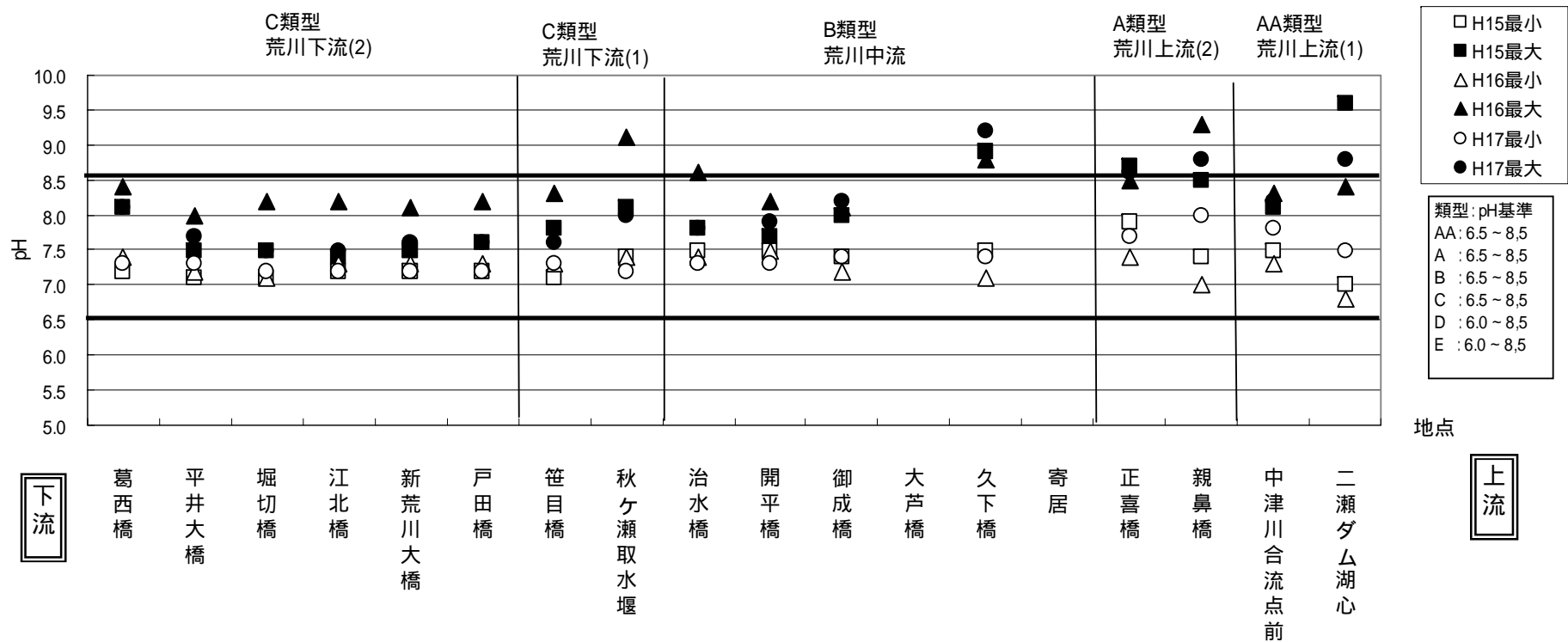
湖沼NP類型：全窒素の項目の基準値は除く。

水質汚濁防止法の規定に基づき、全国の都道府県が毎年定める測定計画に従って、都道府県・水質汚濁防止法政令市のほか、一級河川のうち国の直轄管理区間については国土交通省地方整備局によって実施される。原則、河川は表層(水深の2割程度)、湖沼は表層(成層期には成層を配慮)、海域は表層・中層(必要に応じて下層)の測定結果である。



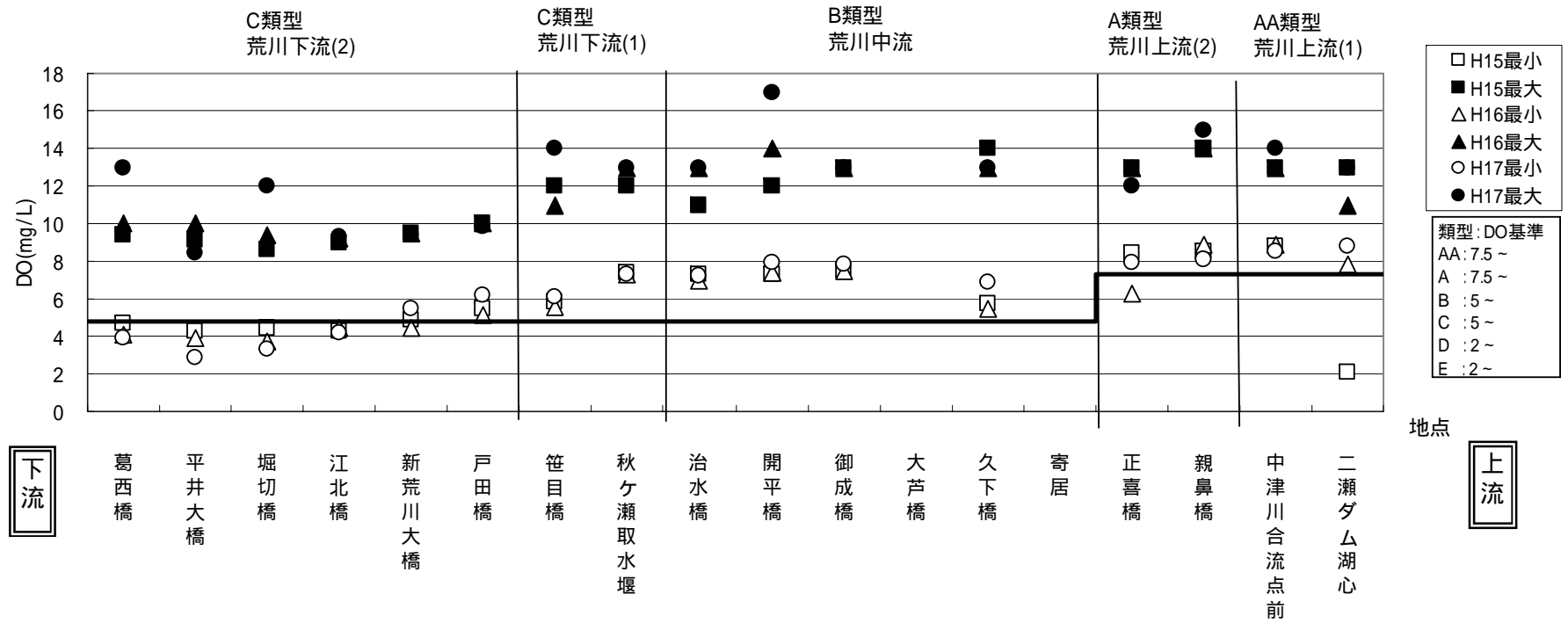
地点: 環境基準点()・補助点()・流量測定点()
荒川 BOD75%値 縦断分布図

本資料は検討中のもので修正する場合がある。



荒川 pH縦断分布図

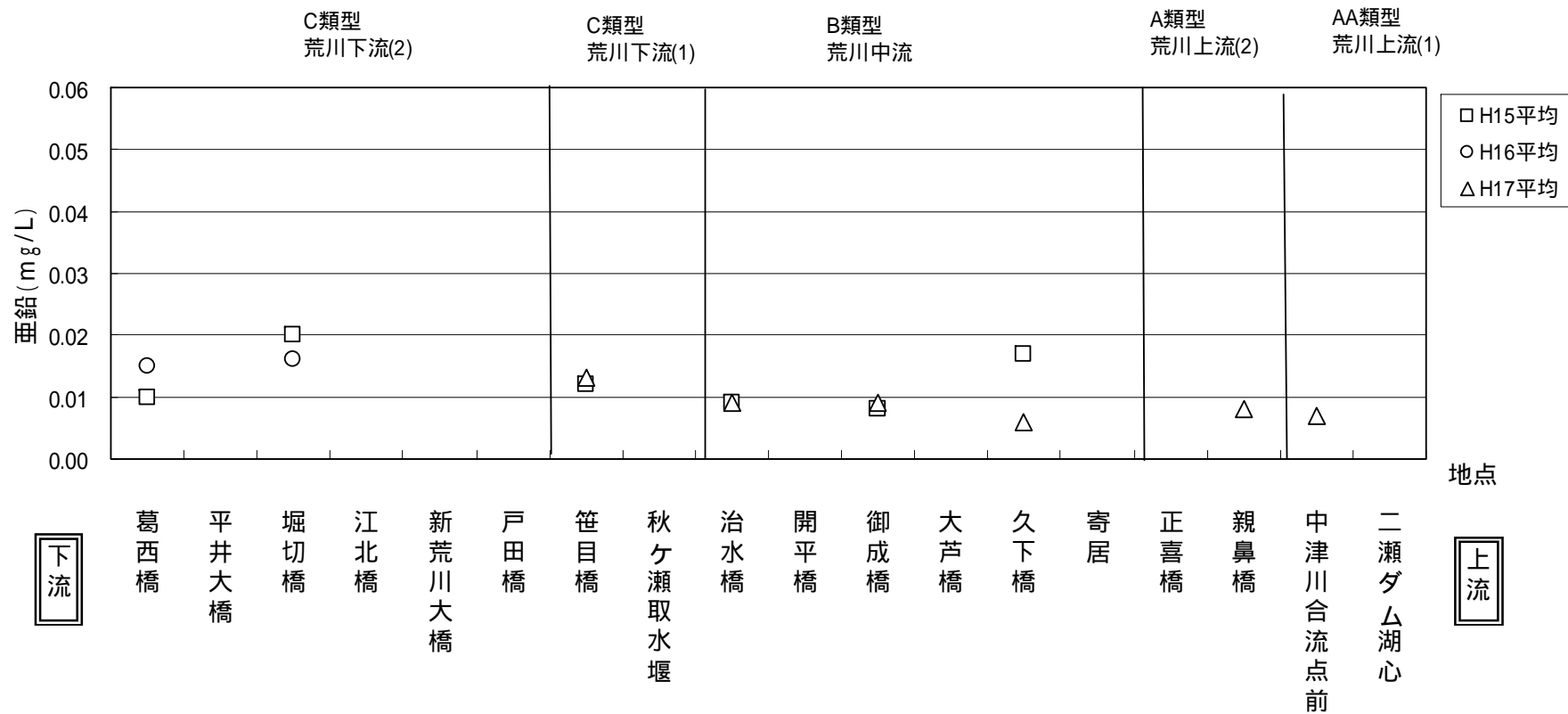
本資料は検討中のもので修正する場合があります。



地点：環境基準点()・補助点()・流量測定点()

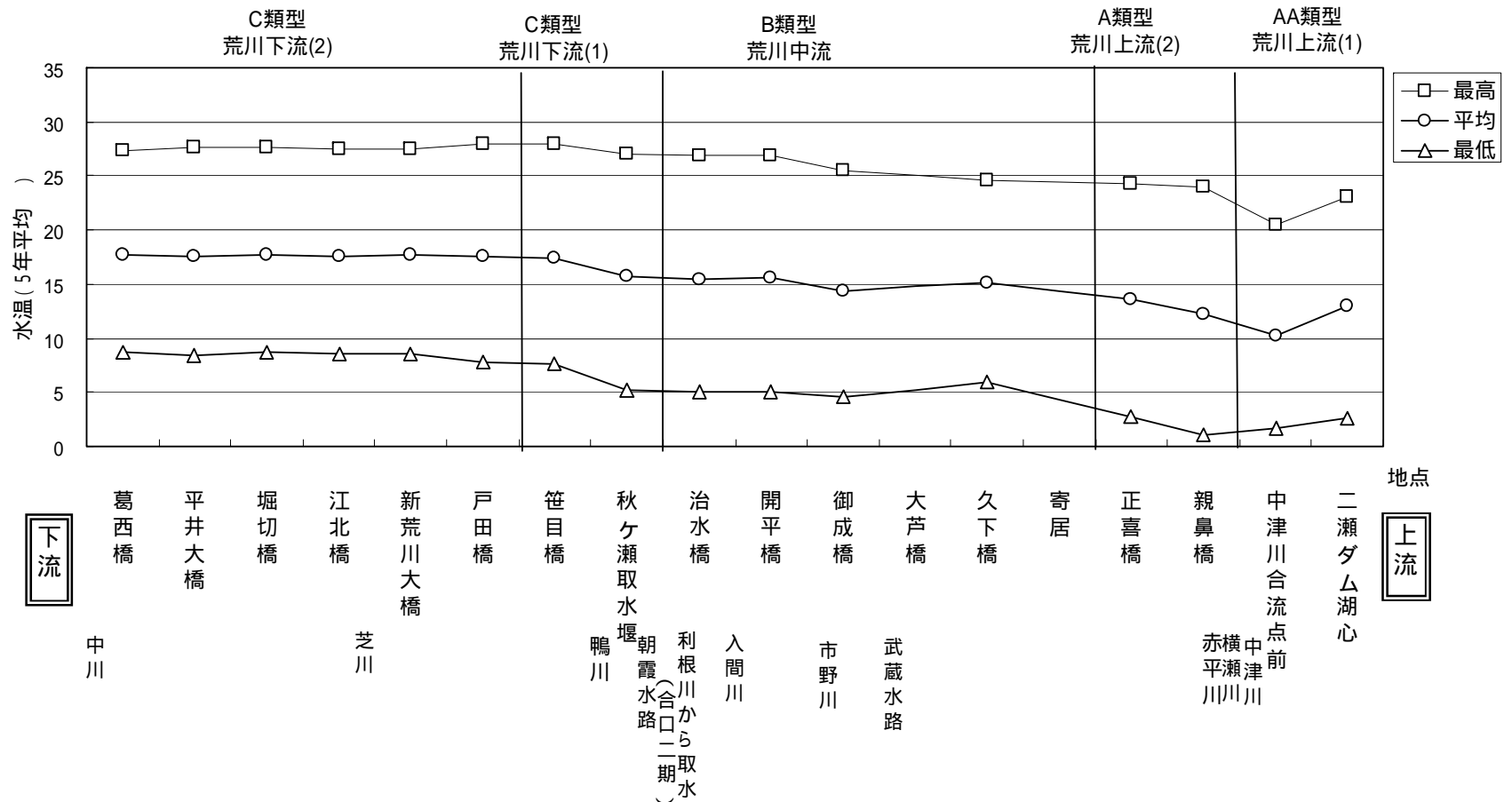
荒川 DO縦断分布図

本資料は検討中のもので修正する場合がある。



地点：環境基準点()・補助点()・流量測定点()
 年度平均値が<0.01、<0.03(定量下限値未滿)の地点については、0.01及び0.03とみなしてプロットした。また、定量下限値が<0.05の地点のデータは除外した。

荒川 亜鉛縦断分布図



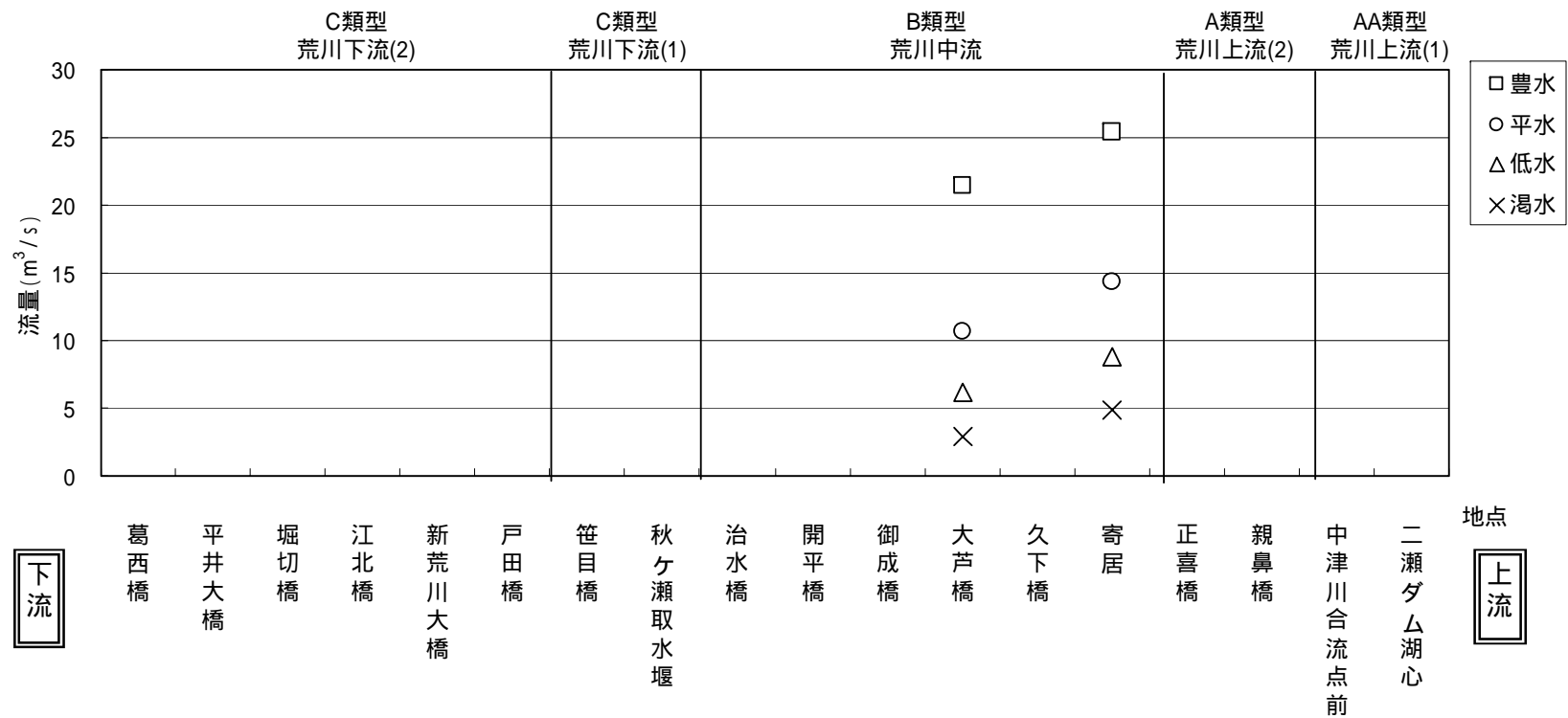
出典:平成16年度版下水道統計(行政編)

最高・平均・最低は、平成12～16年度の公共用水域水質測定結果より、各年度において、月平均水温の年最高値・年平均値・年最低値を求め、5ヵ年でそれぞれ平均した値である。一部で月1回以上の頻度で計測していない地点がある。

地点:環境基準点()・補助点()・流量測定点()
ダム湖の水温は表層データを示した。

荒川 水温縦断分布図

本資料は検討中のもので修正する場合がある。



荒川 流量縦断分布図

地点：環境基準点()・補助点()・流量測定点()

本資料は検討中のもので修正する場合がある。



主な河川横断工作物(荒川)